

静岡県文化財年報

(令和6年度)

静岡県スポーツ・文化観光部

新指定の文化財

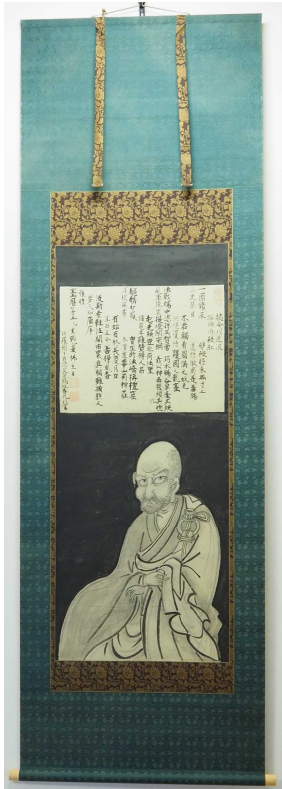


国指定重要文化財（彫刻の部） 南禅寺伝来諸像（谷津区）

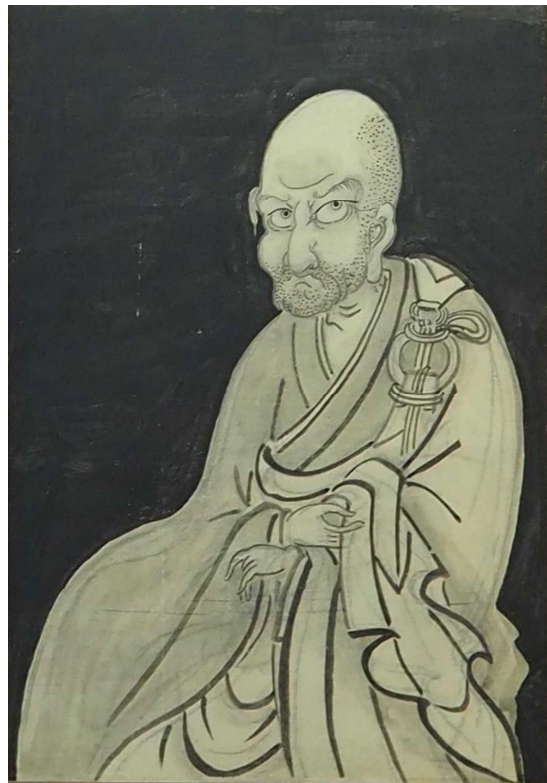


国指定史跡 高尾山古墳（沼津市）

新指定の文化財



静岡県指定有形文化財（絵画）



紙本墨画宝珠護国禅師像〈白隠慧鶴筆〉（宗教法人龍津寺）



静岡県指定有形文化財（工芸品） 鰐口 応安二年の陰刻銘あり（峯熊阿弥陀堂）

新指定の文化財



静岡県指定無形民俗文化財（風俗慣習） 三熊野神社大祭の祢里行事
(遠州横須賀三熊野神社祭礼保存会)



関東ブロック民俗芸能大会 静岡大会（静岡県指定無形民俗文化財 由比のお太鼓祭）

埋蔵文化財の記録保存調査



大門遺跡（袋井市） 9区 方形周溝墓群検出状況（東から）

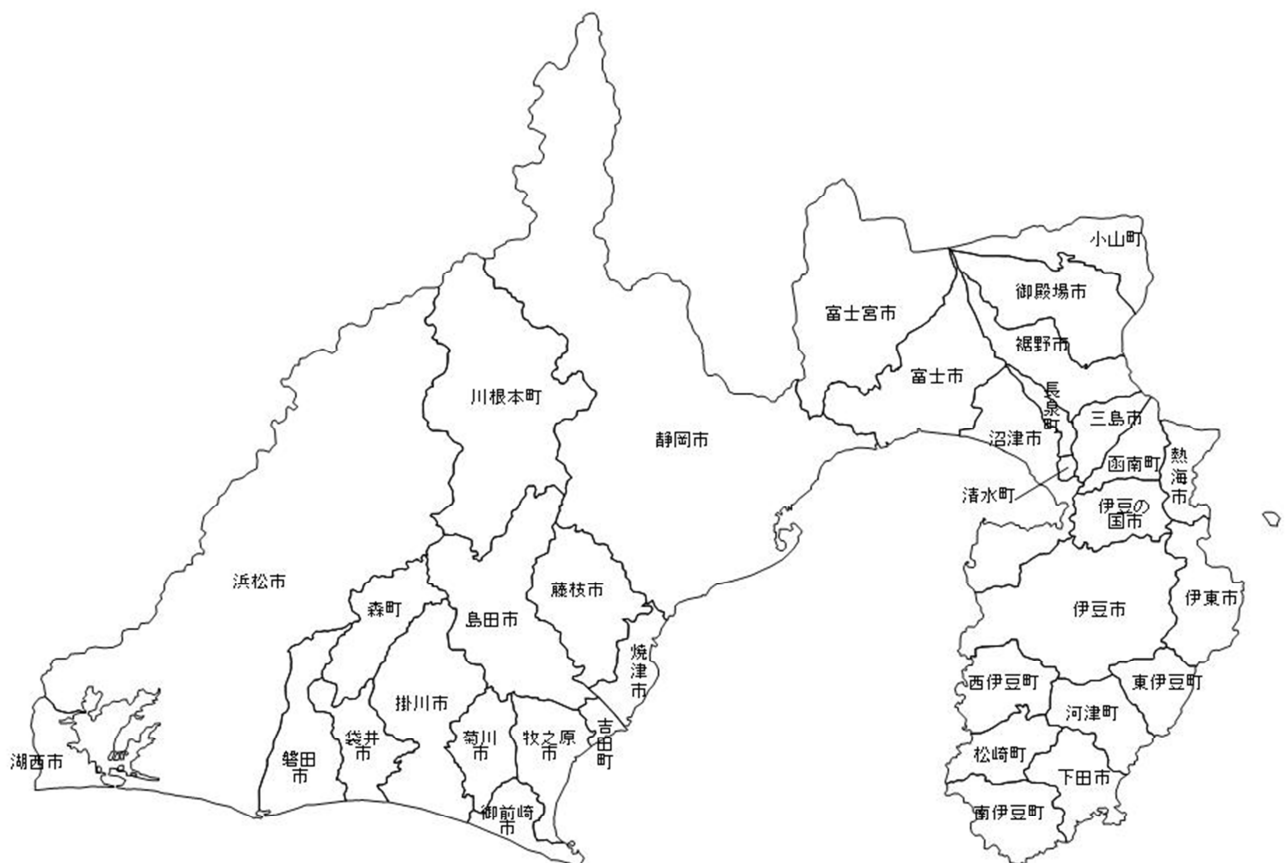


東田遺跡（富士宮市） 竪穴建物跡 SH03 検出状況

例 言

- 1 本書は令和6年度における静岡県内の文化財関連資料をまとめたものである。
- 2 各項目中の市町の配列は、県で定めた番号順を原則としている。
- 3 本書の作成・編集は、静岡県スポーツ・文化観光部文化財課及び埋蔵文化財センターが行った。

静岡県市町位置図



目 次

巻頭カラー

- 国指定重要文化財（彫刻の部） 南禅寺伝来諸像（谷津区）
国指定史跡 高尾山古墳（沼津市）
静岡県指定有形文化財（絵画） 紙本墨画宝珠護国禅師像〈白隠慧鶴筆〉（宗教法人龍津寺）
静岡県指定有形文化財（工芸品） 鰐口 応安二年の陰刻銘あり（峯熊阿弥陀堂）
静岡県指定無形民俗文化財（風俗慣習） 三熊野神社大祭の祢里行事（遠州横須賀三熊野神社祭礼保存会）
関東ブロック民俗芸能大会 静岡大会（静岡県指定無形民俗文化財 由比のお太鼓祭）
大門遺跡（袋井市） 9区 方形周溝墓群検出状況（東から）
東田遺跡（富士宮市） 竪穴建物跡 SH03 検出状況

例 言

静岡縣市町位置図

第1部 指定文化財の保護

- 1 事業概要・・・ 1
2 指定文化財等・・ 1
（1）文化財保護審議会の開催 （2）国指定文化財の指定 （3）県指定文化財の指定・指定解除
（4）新規国登録文化財 （5）文化財保護指導・巡回活動の実施 （6）文化財保護対策調査の実施
（7）文化財防火デー （8）銃砲刀剣類登録審査会の開催
3 文化財関係補助事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
（1）国指定 （2）県指定 （3）指定文化財管理（国指定） （4）指定文化財管理（県指定）
4 文化財活用事業・・ 9
（1）市町計画作成支援 （2）文化財保存活用計画 （3）日本遺産 （4）しずおか遺産
（5）公開活用事業 （6）情報発信 （7）「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」認定・表彰
（8）無形民俗文化財の保存継承に向けた取り組み
5 研 修・・ 15
（1）文化財行政職員研修等 （2）地域人材研修

第2部 埋蔵文化財の保護

- 1 事業概要・・ 17
2 埋蔵文化財・・ 18
（1）静岡県及び市町の調査体制 （2）遺跡周知事業の実施 （3）埋蔵文化財に係る届出等の周知
（4）静岡県実施の試掘・確認調査
3 埋蔵文化財の保存・・ 25
（1）記録保存調査及び保存処理業務の実施 （2）記録保存調査の概要 （3）保存処理業務
（4）報告書の発刊
4 出土文化財の管理・・ 35
（1）出土文化財保管庫の整備 （2）出土文化財評価会 （3）出土文化財の貸出等
5 埋蔵文化財の活用・・ 40
（1）体験授業・出前授業 （2）古代体験まつり フェスタ埋文 2024
（3）遺跡調査報告会『しずおかの原像をさぐる』（4）埋文セミナー・考古学技術体験
（5）常設展示 （6）出張展 （7）文化財交流拡大事業 （8）調査指導等の依頼対応

第1部 指定文化財の保護

1 事業概要

令和2年3月に策定した『静岡県文化財保存活用大綱』に基づき、3つの基本方針である「文化財の確実な保存」「文化財を支える多様な人材の育成」「文化財の効果的な活用」を確実なものとするため、「しずおか遺産」の新規認定、「第66回関東ブロック民俗芸能大会」の開催など、各種事業を実施した。また、「文化財3次元データ整備」を開始し、県文化財ポータルサイト「レガシズ」に「LEGA-SHIZU×3D」を加えて情報発信力を強化した。

2 指定文化財等

(1) 文化財保護審議会の開催

県指定文化財の指定等について審議・答申を行い、貴重な文化財の保護に努めた。

開催回数 3回、指定件数 3件、指定解除件数 3件、県指定文化財総数 558件

静岡県文化財保護審議会委員（令和6年度）

No.	担当分野	氏 名	所属・現職等
1	建造物	土屋 和男	常葉大学教授
2	建造物	杉野 丞	愛知工業大学名誉教授
3	絵画	片桐 弥生	静岡文化芸術大学教授
4	絵画	吉田 恵理	静嘉堂文庫美術館学芸員
5	彫刻	田島 整	上原美術館上席学芸員
6	工芸	清水 健	東京国立博物館上席研究員
7	工芸	内田 篤呉	MOA美術館長
8	書跡・典籍・古文書	貴田 潔	静岡大学准教授
9	書跡・典籍・古文書	酒入 陽子	流通経済大学教授
10	民俗文化財	石垣 悟	國學院大学准教授
11	民俗文化財	齊藤 裕嗣	独立行政法人日本芸術文化振興会 プログラムディレクター
12	史跡・考古資料等	日高 慎	東京学芸大学教授
13	史跡・考古資料等	村木 二郎	国立歴史民俗博物館准教授
14	史跡・考古資料等	篠原 和大	静岡大学教授
15	名勝	木下 剛	千葉大学教授
16	天然記念物（動物）	安藤 正規	岐阜大学准教授
17	天然記念物（植物）	徳岡 徹	静岡大学准教授
18	天然記念物（地質鉱物）	瀬瀬 佑衣	名古屋大学講師
19	まちづくり	脇田 和美	東海大学教授
20	観光	大久保 あかね	静岡県立大学教授

(2) 国指定文化財の指定

ア 有形文化財（美術工芸品）

「南禅寺伝来諸像」(河津町) 令和6年8月27日指定

南禅寺堂と呼ばれる堂に伝来した26軀からなる木彫群で、堂の本尊、薬師如来像をはじめ、大半が10～11世紀の製作になり、仏・菩薩・護法神など当時の堂宇に安置される主要な尊格が揃う。いずれも一木造で仏像は基本的にカヤ材、神像はクスノキ材を用いる。各像間で作風や製作技法に共通点が認められることから、同系統の工房が当地において継続して造像を行ったことが推定される。平安時代の地方における造像のさまを如実に伝える遺品として重要である。また十一面観音像の一軀は素朴な作風であるが、カヤ材の一木造で各所に古様を示すことから、奈良時代に遡る製作とみられる。(奈良時代・平安時代 8世紀・10～11世紀)

イ 記念物（史跡）

「高尾山古墳」(沼津市) 令和6年10月11日指定

3世紀中頃に水陸交通の要衝に築造された東日本最古級の大規模前方後方墳であり、豊富な副葬品や外来系土器は広域に及ぶ他地域との交流を示している。古墳文化の東日本への広がりやヤマト政権成立期における政治的、社会的情勢を知る上で重要。

(3) 県指定文化財の指定・指定解除

ア 指定

(ア) 有形文化財（絵画）

「紙本墨画宝珠護国禅師像〈白隠慧鶴筆〉」(静岡市) 令和6年12月17日指定 第716号

本作は、今川義元の軍師で、龍津寺を開山した太原崇孚雪斎(宝珠護国禅師 1496～1555年)の200年遠忌法要のため龍津寺に滞在していた白隠慧鶴(1685～1768年)が、宝暦5年(1755)4月8日に描いた太原の頂相である。縦105.4cm、横43.8cmの紙本墨画で、以後現在まで、龍津寺が所蔵している。

本作は背景を漆黒に塗り込めた特異な作である。白隠自身が上部に賛を揮毫し、画面ほぼ半分より下部に、袈裟をつけた太原が体をやや斜めにして座る姿を描く。淡墨のゆったりとした輪郭線は何度も引き直され、下描き線とあいまって体躯を形作り、さらに薄い墨を塗り重ねて隈をとり立体感を表す。左右の手を交差させ、右手で左の衣を持つ姿勢は、白隠筆「雲門禅師像」(静岡・龍泉寺)や「関山慧玄像」(松江・天倫寺)と同様である。また鋭い眼光の表現は、大燈国師を描いた「乞食大燈図」(永青文庫)や「臨濟義玄像」(個人蔵、龍泉寺)のそれに通じる。賛は、偈語を交えて、妙心寺の大休宗休禅師(1468～1549年)の下で修行して大悟し、臨濟宗の僧となったこと、軍師として今川氏の危機を度々救ったこと、龍津寺を開山し、長慶寺、臨濟寺を再興したことなど、太原の業績を讃える。

作者である白隠は、原宿(現在の沼津市原)に生まれた、臨濟宗の中興の祖である。民衆教化のため、貧しい土地を提唱して歩き、多数の禅画墨蹟や法語を残した。それらは禅の教えであり、実質は大名らを含めた人々への政治的進言でもあった。本作も、龍津寺の大檀越で、度重なる飢饉により財政難に苦しむ小島藩主松平昌信と龍津寺第三世石鼎道訓が、太原の遠忌のために白隠を龍津寺に招聘したことにより成った作品である。

白隠の禅画墨蹟が充実しはじめ、次々に優品を生むのは70歳代以降である。本作は白隠71歳の作で、来歴の明らかな基準作である。また、白隠の墨画の特徴の一つである、背景を漆黒とする手法の最初期の作で、この表現は、江戸時代中期以降に京都や江戸で始まる闇夜の表現と類似し、その初発的な表現でもある。

このように、本作は地域の歴史的な背景が成立要因となった、禅僧の禅画ならではの意味と機能を有した大変意義深い作品であり、絵画表現においても、江戸絵画史上、特色ある作品として重要である。

(イ) 有形文化財（工芸品）

「鰐口 応安二年の陰刻銘あり」(浜松市) 令和7年4月15日指定 第717号

この鰐口は、青銅鑄造で、表裏とも圏線により、内側から撞座区、内区、銘帯に区分され、表裏の銘帯などには銘文が陰刻される。鑄造状態、遺存状態、共に良好である。

銘文から、この鰐口は、応安2年（1369）に池日地藏堂に奉納され、その後、寛正3年（1462）に真福寺に奉納されたこと、明治15年（1882）に高橋新太郎の所蔵となり、昭和7年（1932）の堂宇再興時に寄贈されたことがうかがえる。

また、目の出と唇の出は浅く、側面から鼓面縁にかけて3条、外区に2条、中区に2条の細い圏線が陽鑄され、礼拝時に打ち鳴らされる中央部の撞座区は甲盛りが高く、中央に八葉複弁の蓮弁を表わすといった形態的な特徴を持ち、銘文に示された時代と形態的な特徴からうかがえる製作時期は合致する。

本鰐口は、寛正3年以降、遠州豊田郡熊村で伝えられてきたことを示す銘文の歴史資料的な価値を含め、本県に伝わる数少ない室町時代前期の優れた金工品として、当時の金工技術水準の一端を示す重要な資料である。

【法量】面径 19.6cm、撞座面の厚さ 9.8cm、重さ 2810 g

【銘文】

表面 銘帯右側 奉施入池日地藏堂金一口
銘帯左側 應安二年卯月廿九日沙弥智阿弥陀佛
裏面 銘帯右側 奉懸[]遠州豊田郡熊村内峯真福寺公用也
銘帯左側 于時寛正三年壬午小春廿四日願主村人
内区右側 明治拾五年廃寺後高橋新太郎氏秘蔵
内区左側 昭和七年葉月廿四日堂当再興之寄贈

(ウ) 無形民俗文化財

「三熊野神社大祭の祢里行事」(掛川市) 令和7年4月15日指定 第718号

三熊野神社大祭の祢里行事は、掛川市横須賀の三熊野神社で、毎年4月の第一金曜日とその翌日の土・日曜日の3日間行われる大祭において、神輿の巡幸に合わせて、祢里と呼ばれる13町が所有する山鉾屋台が町内を巡行する行事である。

三熊野神社大祭の起源は詳らかではないが、江戸時代には横須賀城下で今につながる祭礼行事が行われており、その過程で祢里行事として成立していったものと考えられる。その歴史をたどることにより、祭礼の変遷のみならず、横須賀という地域の成立過程を知り得る行事であるとともに、周辺地域で行われる山鉾屋台系行事にも大きな影響を与えていることから、遠州地域の祢里行事の一典型を示す点でも重要である。

また、行事で使われる祢里は、初期の江戸型山車と同形式であり、行事の伝播を表すものであるとともに、各町内がそれぞれの祢里を飾り、その維持に努めているように、風流としての山鉾屋台の典型的な要素を備えている。

祢里行事を担う組織は、年齢に応じて役割を分担する伝統的な年齢階梯的組織が維持されつつも、社会状況などに臨機応変に対応しながら行事の継続・継承が図られている。

このように、三熊野神社大祭の祢里行事は、静岡県内における山鉾屋台系の行事の変遷や展開の過程を考える上で貴重な事例であり、本県の生活文化の特色を示すもので典型的な文化財である。

イ 解除

(ア) 有形文化財（工芸品）

「^{たち}太刀 ^{むめい きんぞうがんにいちもんじ}無銘金象嵌一文字」（森町） 昭和33年4月15日指定 第180号
県外移転のため、令和6年7月19日指定を解除。

(イ) 有形文化財（彫刻）

「^{もくぞうやくしにょらいざぞう}木造薬師如来坐像1躯 ^{もくぞうじぞうぼさつりゅうぞう}木造地藏菩薩立像1躯 ^{もくぞうてんぶぎょうりゅうぞう}木造天部形立像2躯 ^{つけたりもくぞうじゅういちめん}附木造十一面
^{かんのりゅうぞう}観音立像1躯 ^{もくぞうじゅういちめんかんのりゅうぞう}木造十一面観音立像1躯 ^{もくぞうぼさつぎょうりゅうぞう}木造菩薩形立像1躯 ^{もくぞうほんてんたいしやくてんりゅうぞう}木造梵天帝釈天立像2躯
^{もくぞうてんぶぎょうりゅうぞう}木造天部形立像1躯 ^{もくぞうそうぎょうざぞう}木造僧形坐像1躯」（河津町） 昭和59年3月23日指定 第519号
重要文化財に指定されたため、令和6年12月17日指定を解除。

(ウ) 有形文化財（工芸品）

「^{かたな}刀 ^{むめい}無銘（^{でんあきくに}伝頭國）」（伊豆市） 昭和38年12月27日指定 第263号
県外移転のため、令和7年4月15日指定を解除。

(4) 新規国登録文化財

官報告示された登録有形文化財・登録無形文化財一覧

登録（告示）日	区 分	名 称	所在地
令和6年8月15日	有形文化財(建築物)	古橋家住宅門及び塀	静岡市
令和6年8月15日	有形文化財(建築物)	旧石川家清水別邸（三樹庵）主屋	静岡市
令和6年8月15日	有形文化財(建築物)	旧新津家別邸主屋	伊豆の国市
令和6年8月15日	有形文化財(建築物)	旧新津家別邸土蔵	伊豆の国市
令和6年8月15日	有形文化財(建築物)	旧新津家別邸表門	伊豆の国市
令和6年12月3日	有形文化財(建築物)	旧永田家住宅（高野屋）主屋	南伊豆町
令和6年12月3日	有形文化財(建築物)	旧永田家住宅（高野屋）蔵	南伊豆町
令和6年12月3日	有形文化財(建築物)	旧永田家住宅（高野屋）長屋門	南伊豆町
令和6年12月3日	有形文化財(建築物)	旧永田家住宅（高野屋）石垣及び石塀	南伊豆町
令和6年12月3日	有形文化財(建築物)	旧鈴木家住宅弓道場の場	浜松市
令和6年12月3日	有形文化財(建築物)	旧鈴木家住宅弓道場矢場	浜松市
令和6年12月16日	無形文化財	手もみ製茶（手揉み製茶技術保存会）	静岡市

(5) 文化財保護指導・巡回活動の実施

国・県指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の巡回調査を実施し、保存管理の状態を的確に掌握して適切な指導を行い、その保護に努めた。

保護指導員 46人 巡回調査員 25人 巡回対象地 365件

(6) 文化財保護対策調査の実施

ア カモシカ通常調査事業

南アルプス保護地域における特別天然記念物カモシカの保存管理を目標に実施する特別調査を補完するため、生息状況、生息環境、食害発生状況に関するモニタリングを行った。

イ 県内遺跡調査事業

埋蔵文化財の記録の作成又は保存に必要な資料を得るため、国・県の開発事業に伴う9件の試掘・確認調査と、4件の本発掘調査、54件の工事立会いを埋蔵文化財センターが実施した。

静岡県実施の試掘・確認調査についてはP20、記録保存調査の概要はP25を参照。

(7) 文化財防火デー

文化財防火デーには、御前埼灯台（御前崎市）、花沢伝統的建造物群保存地区（焼津市）において公開防災訓練が行われたのをはじめ、県内各地の文化財で防災訓練が実施された。また、消防防災設備点検、防災指導、広報活動も県内各地で行われた。

(8) 銃砲刀剣類登録審査会の開催

銃砲刀剣類所持等取締法の規定に基づき、文化財として価値のある刀剣類及び古式銃砲の登録審査を行い、その管理に努めた。

実施回数 8回（東部2回、中部・西部各3回）	登録件数 247件（登録累計 72363件）	
登録証再交付 58件	所有者変更 1138件	製作承認 21件

3 文化財関係補助事業

令和6年度の文化財保存費補助事業は58件である。

国指定等は45件で、建造物保存修理等8件、伝統的建造物群1件、美術工芸品保存修理等4件、民俗文化財保存伝承・活用等1件、記念物保存修理等20件、発掘調査等10件、史跡等買上1件である。

県指定は13件で、建造物保存修理等4件、美術工芸品保存修理等2件、民俗文化財保存伝承・活用等3件、記念物保存修理等4件である。

なお、文化財管理費補助事業は37件で、国指定21件、県指定16件となっている。

(1) 国指定

補助事業者	文化財の名称	事業内容	国費補助率	県費補助率
宗教法人神部神社 浅間神社大歳御祖神社	神部神社浅間神社本殿 ほか15棟	建造物保存修理等	70	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人久能山東照宮	久能山東照宮本殿・石の間・ 拝殿外	建造物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人久能山東照宮	久能山東照宮本殿・石の間・ 拝殿外（防災設備整備）	建造物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人寶林寺	寶林寺仏殿ほか1棟	建造物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人三嶋大社	三嶋大社本殿、幣殿及び拝殿	建造物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
一般財団法人野間文化財団	古谿荘玄関棟ほか8棟	建造物保存修理等	65	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人応声教院	応声教院山門	建造物保存修理等	75	国庫補助残額の1/3以内
富士市	旧順天堂田中歯科医院診療所 兼主屋	建造物保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
焼津市	焼津市花沢	伝統的建造物群	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人久能山東照宮	太刀銘真恒 他	美術工芸品保存修理等	50	国庫補助残額の1/3以内
宗教法人世界救世教	樵夫蒔絵硯箱	美術工芸品保存修理等	55	国庫補助残額の1/3以内

宗教法人世界救世教	色絵藤花文茶壺〈仁清作／＼〉 ほか、69 件	美術工芸品保存修理等	65	国庫補助残額の 1/3 以内
公益財団法人江川文庫	菰山代官江川家関係資料	美術工芸品保存修理等	65	国庫補助残額の 1/3 以内
掛川市	三熊野神社大祭の祢里行事	民俗文化財保存伝承・活用等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
磐田市	遠江国分寺跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
宗教法人久能山東照宮	久能山	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
沼津市	興国寺城跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
三島市	山中城跡（災害）	記念物保存修理等	70	国庫補助残額の 1/3 以内
富士宮市	大鹿窪遺跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
富士宮市	富士山	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
島田市	諏訪原城跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
島田市	島田宿大井川川越遺跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
富士市	浅間古墳	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
掛川市	横須賀城跡	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
宗教法人玉泉寺	玉泉寺	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
菊川市	菊川城館遺跡群	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
函南町	箱根旧街道（災害復旧）	記念物保存修理等	70	国庫補助残額の 1/3 以内
宗教法人清見寺	清見寺庭園	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
宗教法人臨済寺	臨済寺庭園	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
沼津市	旧沼津御用邸苑地	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
沼津市	旧沼津御用邸苑地 （防災施設整備）	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
沼津市	大瀬崎のビヤクシン樹林	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
富士宮市	狩宿の下馬ザクラ	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
御前崎市	白羽の風蝕礫産地	記念物保存修理等	50	国庫補助残額の 1/3 以内
沼津市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の 1/2 以内
熱海市	市内埋蔵文化財	発掘調査等	50	国庫補助残額の 1/2 以内
三島市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の 1/2 以内
伊東市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の 1/2 以内
島田市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の 1/2 以内
富士市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の 1/2 以内
磐田市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の 1/2 以内
掛川市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の 1/2 以内
藤枝市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の 1/2 以内
伊豆の国市	市内遺跡	発掘調査等	50	国庫補助残額の 1/2 以内
磐田市	遠江国分寺跡	史跡等買上	80	国庫補助残額の 1/3 以内

(2) 県指定

補助事業者	文化財の名称	事業内容
宗教法人静居寺	静居寺伽藍のうち禅堂	建造物保存修理等
宗教法人窓泉寺	窓泉寺山門	建造物保存修理等
宗教法人龍潭寺	龍潭寺伽藍のうち山門	建造物保存修理等
宗教法人龍潭寺	龍潭寺伽藍のうち山門 (R5→R6)	建造物保存修理等
宗教法人靈山寺	木造金剛力士立像	美術工芸品保存修理等
宗教法人宝林寺	木造二十四善神立像 24 軀のうち 韋駄天菩薩・大弁才天菩薩	美術工芸品保存修理等
伊東市	富戸の魚見小屋	民俗文化財保存伝承・活用等
三社祭礼囃子保存会（東新町）	三社祭礼囃子（東新町）	民俗文化財保存伝承・活用等
横尾歌舞伎保存会	横尾歌舞伎	民俗文化財保存伝承・活用等
宗教法人長楽寺	長楽寺庭園	記念物保存修理等
宗教法人摩訶耶寺	摩訶耶寺庭園	記念物保存修理等
所有者（個人）	田沢のイヌマキ	記念物保存修理等
所有者（個人）	伊達方のヒイラギ	記念物保存修理等

(3) 指定文化財管理（国指定）

補助事業者	文化財の名称	事業内容
宗教法人久能山東照宮	久能山東照宮社殿	指定文化財管理
宗教法人神部神社浅間神社大歳御祖神社	神部神社浅間神社大歳御祖神社社殿	指定文化財管理
宗教法人臨済寺	臨済寺	指定文化財管理
宗教法人靈山寺	靈山寺仁王門	指定文化財管理
宗教法人富士山本宮浅間大社	富士山本宮浅間神社本殿	指定文化財管理
宗教法人智満寺	智満寺本堂	指定文化財管理
宗教法人油山寺	油山寺山門・三重塔他	指定文化財管理
宗教法人尊永寺	尊永寺仁王門	指定文化財管理
宗教法人富士浅間宮	富士浅間宮本殿	指定文化財管理
宗教法人方広寺	方広寺七尊菩薩堂	指定文化財管理
宗教法人寶林寺	寶林寺仏殿・方丈	指定文化財管理
宗教法人本興寺	本興寺本堂	指定文化財管理
公益財団法人江川文庫	江川家住宅	指定文化財管理
公益社団法人大日本報徳社	大日本報徳社大講堂	指定文化財管理
一般財団法人野間文化財団	古谿荘	指定文化財管理
所有者（個人）	黒田家住宅	指定文化財管理
所有者（個人）	大鐘家住宅	指定文化財管理
宗教法人清見寺	清見寺庭園	指定文化財管理
宗教法人柴屋寺	柴屋寺庭園	指定文化財管理
所有者（個人）	友田家住宅	指定文化財管理
宗教法人三嶋大社	三嶋大社本殿、幣殿及び拝殿	指定文化財管理

(4) 指定文化財管理（県指定）

補助事業者	文化財の名称	事業内容
宗教法人富士山本宮浅間大社	富士山本宮浅間大社社殿	指定文化財管理
宗教法人清水寺	清水寺観音堂	指定文化財管理
宗教法人静居寺	静居寺伽藍及び惣門	指定文化財管理
宗教法人医王寺	医王寺薬師堂	指定文化財管理
宗教法人釣月院	釣月院本堂	指定文化財管理
宗教法人西山寺	西山寺本堂	指定文化財管理
公益社団法人大日本報徳社	淡山翁記念報徳図書館他	指定文化財管理
宗教法人龍華院	龍華院大猷院霊屋	指定文化財管理
宗教法人油山寺	油山寺書院他	指定文化財管理
宗教法人西楽寺	西楽寺本堂	指定文化財管理
宗教法人実相寺	実相寺庭園	指定文化財管理
宗教法人天宮神社	天宮神社本殿及び拝殿	指定文化財管理
宗教法人山名神社	山名神社本殿	指定文化財管理
宗教法人本興寺	本興寺奥書院	指定文化財管理
宗教法人応賀寺	応賀寺薬師堂	指定文化財管理
宗教法人天徳寺	天徳寺山門	指定文化財管理

4 文化財活用事業

(1) 市町計画作成支援

ア 地域計画作成

平成 31 年度の文化財保護法改正により、市町は区域内における文化財の総合的な保存・活用の具体的計画として「文化財保存活用地域計画」を作成し、国の認定を受けることができることとなった。本県では、令和 2 年 3 月に策定した「静岡県文化財保存活用大綱」に基づいて、県内市町の文化財保存活用地域計画の作成を促進し、研修会や個別相談対応、文化庁協議への同行などにより市町への支援を行っている。

令和 6 年度は、8 市町（三島市、沼津市、富士宮市、静岡市、島田市、掛川市、森町、湖西市）が作成作業を行っており、このうち、三島市及び沼津市、静岡市、掛川市が作成した計画が文化庁長官に認定され、これまでの認定市町は計 12 市町となった。

「文化財保存活用地域計画」認定状況・申請予定	
令和 3～5 年度	浜松市 (R3)、磐田市 (R3)、伊豆の国市 (R4)、富士市 (R4)、焼津市 (R4)、袋井市 (R4)、藤枝市 (R5)、小山町 (R5)
令和 6 年度	掛川市 (7/19)、三島市 (12/20)、沼津市 (12/20)、静岡市 (12/20)
令和 7 年度以降申請予定	富士宮市、島田市、森町、湖西市

イ 歴史的風致維持向上計画

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づく「歴史的風致維持向上計画」については、これまで本県では 5 市が策定し、認定を受けている。

歴史的風致維持向上計画策定市町					
市町名	三島市	掛川市	伊豆の国市	下田市	浜松市
国認定	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度	令和 3 年度

(2) 文化財保存活用計画

個別文化財の保存活用計画については、国指定の史跡 2 件と名勝 1 件が令和 6 年度に作成された。

作成者	指定種別	文化財名	作成
静岡市	国指定名勝	三保松原	令和 7 年 3 月作成
富士市	国指定史跡	浅間古墳	令和 7 年 3 月作成
掛川市	国指定史跡	横須賀城跡	令和 7 年 3 月作成

(3) 日本遺産

全国では令和 2 年度までに計 104 件の日本遺産が認定され、当初予定の 100 件に達している。本県では 2 件が認定されている。

令和 6 年度には「旅人たちの足跡残る悠久の石畳道一箱根八里で辿る遥かな江戸の旅路」（三島市ほか）が認定 6 年目を迎え、日本遺産審査・評価委員会における審査を受け、「認定継続」となった。

市町名	認定年度	認定名
三島市・函南町 (小田原市・箱根町)	平成 30 年度	「旅人たちの足跡残る悠久の石畳道一箱根八里で辿る遥かな江戸の旅路」
藤枝市・静岡市	令和 2 年度	「日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅～滑稽本と浮世絵が描く東海道旅のガイドブック(道中記)～」

(4) しずおか遺産

「しずおか遺産」は、本県の魅力ある歴史文化資源を紹介するストーリーを県が認定する制度として令和4年度に創設した。ストーリーで文化財を紹介することで、本県の歴史文化に対する県民の理解を深めるとともに、魅力ある歴史文化資源として磨き上げ、観光利用につなげることを目的としている。令和6年度は2件のストーリーを令和7年1月14日に認定し、昨年度までに認定した5件とあわせ、認定件数の合計は7件となった。

認定	タイトル・特徴	構成文化財所在市町（※代表市町）
6年度	富士山の清流が織り成した産業革命 特徴：富士山麓の水を活かした紡績や発電所等の歴史遺産	小山町※・富士宮市
	田沼街道とまぼろしの城 特徴：田沼意次ゆかりの街道や城跡、伝統行事等の歴史遺産	牧之原市※・藤枝市・焼津市・吉田町
5年度	文武に秀でた今川一族 ～伝統を守る山西の地～ 特徴：今川縁の寺社や地域で受け継がれる食や伝統芸能	藤枝市※・焼津市・島田市・静岡市
	日本平が紡ぐ悠久の歴史文化回廊 特徴：眺望をキーワードに巡る日本平と周辺の文化財	静岡県・静岡市
4年度	近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶 特徴：明治の学校を中心とした地域の魅力	磐田市※・菊川市・森町・松崎町
	秋葉信仰と街道 特徴：南北の街道を行く歴史体験	浜松市※・湖西市・磐田市・袋井市・森町・掛川市・菊川市・牧之原市・御前崎市
	文学の聖地「伊豆」と温泉～癒しを求めた文豪たち～ 特徴：文豪の足跡を辿る旅路による新たな伊豆の魅力	伊豆市※・河津町・熱海市・伊豆の国市・伊東市

(5) 公開活用事業

ア ふじのくに文化財オータムフェア

「ふじのくに」の伝統・歴史に培われた文化財に対する県民の理解と関心を高めるために、文化財に身近に触れる機会創出の強調期間を文化の秋の10～11月に設けて、市町や文化財所有者の協力を得て各地のイベント等を展開させ、様々な文化財の楽しみ方と魅力をアピールした。

この事業は、平成13年度から令和元年度まで行ってきた「しずおか文化財ウィーク」の名称を令和2年度に「ふじのくに文化財オータムフェア」と改めて、より地域の文化財を楽しむことができるように内容の充実を図り、インターネット情報サイトの利用やWEB広報による情報発信を強化しながら推進している。

令和6年度は、県文化財ポータルサイト「レガシズ」を利用した広報や、「しずおか遺産」を巡るスタンプラリーの同時開催といった新たな取組にも挑戦しながら、多彩なイベントによる事業を実施することができ、参加者数462,704人という成果を得た。

区 分	事 業 内 容	参加者等
文化財クローズアップ (しずおか遺産活用推進実行委員会事業)	開催日 令和6年11月24日(日) テーマ 『しずおか遺産』日本平と草薙の文化財をさぐる 【特別見学会】 会 場 草薙地域の古墳、草薙神社 【講演会】 会 場 静岡県立美術館 講堂	150人

文化財を学ぶ in 日本平夢テラス (しずおか遺産活用推進実行 委員会事業)	開催期間 令和6年10月11日(金)～11月18日(月) 会 場 日本平夢テラス テ ー マ 「日本平から見た古墳時代」 【特別展示】県指定文化財等(県埋蔵文化財センター所蔵品)と紹介パ ネル 【ミニ講座】10月15日(火)・11月5日(火)	56,594人
第66回 関東ブロック民俗芸能大会	(後出の「第66回関東ブロック民俗芸能大会」を参照)	411人
県立中央図書館事業	地域資料特集展示	25,164人
県埋蔵文化財センター事業	出張展示、遺跡調査報告会、埋文セミナー	3,432人
市町協賛事業	特別公開、展示会、講演会、調査報告会、体験イベント、 ユニークメニューなどの実施 計26市町87事業	376,953人

イ 文化財交流拡大事業

令和3年度に、本県及び山梨県が取組む「バイ・ふじのくに」の関連事業として、文化の面における新たな地域交流圏の創出に向けて、文化資源の魅力を見つめ直す契機とするために、それぞれの地域に育まれた特徴ある文化財を活用する事業を開始した。令和4年度には長野県、令和5年度には新潟県を加えて中央日本4県の連携を結実させた。

令和6年度は、各県で中央日本4県の地域性と交流に関わる歴史文化のテーマを取り上げて、文化財を通じて魅力を発信するイベントを実施し、連携して交流をPRした。

開催県	事 業 内 容
新潟県	テーマ：『珠玉の国 新潟ーヒスイ、青玉、赤玉』 展示会：令和6年9月14日(土)～11月10日(日)、新潟県立歴史博物館企画展示室、観覧者6,417人 講演会：令和6年9月16日(月祝)、メディアシップ日報ホール、参加者178人
長野県	テーマ：『のこされたすこしのもの、なされたたくさんのこと。』 展示会：令和7年1月4日(土)～1月19日(日)、長野県立美術館、観覧者859人 トークイベント：令和7年1月18日(日)、長野県立美術館、参加者82人 ワークショップ：令和7年1月13日(月祝)、長野県立美術館、参加者126人
山梨県	テーマ：『来てみて！城と城下町』 シンポジウム：令和7年2月16日(日)、史跡甲府城跡内恩賜林記念館、参加者93人 ワークショップ：令和7年2月16日(日)、史跡甲府城跡南広場、参加者155人
静岡県	テーマ：『経塚に見る中世の山岳信仰』 展示会：令和7年2月6日(木)～3月1日(土)、静岡県立美術館県民ギャラリー、観覧者1,167人 講演会：令和7年2月22日(土)、静岡県立美術館講堂、参加者103人 ※詳細は第2部5の埋蔵文化財の活用で報告

(6) 情報発信

ア 静岡県文化財ポータルサイト「レガシズ」

県内文化財のデジタル情報発信の総合的・一元的な窓口として、静岡県文化財ポータルサイト「レガシズ」を令和5年3月から開始した。県内の国・県指定の文化財情報（しずおか文化財ナビ）をはじめ、文化財をめぐるモデルコース（レガシズ旅）や、しずおか遺産、文化財関連イベントを紹介している。

令和6年度は、新たにオータムフェア、無形民俗文化財、文化財3Dを取り上げた特集ページを構築した。



イ 文化財3次元データ整備

県内の歴史文化資源である文化財の3次元データを計測し、公開・活用することにより、保存上公開制約のある文化財の価値や魅力を発信する文化財デジタル情報発信を実装する事業を令和6年度に立ち上げた。教育・観光等への利用を促進するほか、高精度の3次元データは修復や災害に備えた記録として、文化財を将来に継承するために役立てる。

区分	事業内容
計測	国・県指定文化財の彫刻（仏像）のうち、保存状態が良く、県民に是非知ってもらいたい32 躯を対象に選定し、フォトグラメトリの方法を利用して計測 ・河津平安の仏像展示館（河津町谷津）：薬師如来坐像、地藏菩薩立像など5体 ・上原美術館（下田市宇土金）：松崎町吉田寺の阿弥陀如来坐像、観音菩薩立像など4体 ・かんなみ仏の里美術館（函南町桑原）：阿弥陀如来坐像、十二神将立像など10体 ・建徳寺観音堂（静岡市葵区建徳）：不動明王立像2体 ・坂ノ上薬師堂（静岡市葵区坂ノ上）：十一面観音立像、大日如来坐像など7体 ・摩訶耶寺（浜松市浜名区三ヶ日町）：不動明王立像、阿弥陀如来坐像2体 ・応賀寺（湖西市新居町中之郷）：阿弥陀如来坐像、毘沙門天立像2体
公開	ポータルサイト「レガシズ」において、専用コンテンツ「LEGA-SHIZU×3D」を1月17日に開設 

セミナー	県内文化財関係者による考古資料・史跡などの3次元データ計測等を促進するため、専門家を招いて講義と実習を実施 【静岡県文化財3Dセミナー】 ・令和6年10月8日（火）～9日（水）、静岡県埋蔵文化財センター ・令和6年11月12日（火）～13日（水）、伊豆の国市あやめ会館・北江間横穴群 ・令和6年12月4日（水）～5日（木）、磐田市埋蔵文化財センター
体験会	情報発信の利用やアーカイブ化への参画を促進するため、文化施設に訪れる県民等に3次元データをとおして文化財の魅力を体験してもらうイベントを開催 【3Dデータでせまる文化財「仏像のヒミツ」体験会】 ・令和7年2月2日（日）10時～16時、静岡市歴史博物館学習支援・市民活動スペース、参加者180人 ・令和7年2月24日（月祝）10時～16時、浜松市美術館講座室、参加者130人 ・令和7年3月2日（日）10時～16時、かんなみ仏の里美術館多目的室、参加者120人

（7）「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」認定・表彰

過疎化・少子高齢化の中、地域の文化財を将来に継承する上で地域ぐるみ、社会総がかりによる文化財の保存・活用が求められており、これには文化財の価値を十分に理解し、地域に根ざした活動を行う民間団体の力が必要である。文化財の保存・活用の取組を活性化するため、令和2年度に創設した「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」認定制度により、令和5年度までに75団体を認定した。

令和6年度も団体募集を行い認定審査会を経て4団体を認定したほか、過去に認定された団体の中から、特に優秀な活動実績を残した団体を表彰する知事褒賞制度により、2団体を表彰した。



ロゴマーク

認定団体一覧 令和6年度認定団体（4団体）

所在市町	団体名
静岡市	一般社団法人三保松原 3rings プロジェクト
熱海市	特定非営利活動法人あたまオアシス 21
磐田市	特定非営利活動法人プロジェクト7・甕れ七重塔
伊豆市	狩野城の会

表彰団体一覧 令和6年度表彰団体（2団体）

所在市町	団体名
浜松市	浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会
富士市	駿河郷土史研究会

(8) 無形民俗文化財の保存継承に向けた取り組み

ア 「第 66 回関東ブロック民俗芸能大会」の開催

各地に伝承されている民俗芸能について、一般の理解と関心を喚起するとともに、各地における保存・伝承活動の活性化に寄与することを目的として、関東 11 都県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県）が持ち回りで開催し、令和 6 年度は静岡県主催で大会を開催した。

日 時 令和 6 年 10 月 6 日（日）

会 場 静岡市清水文化会館マリナート 大ホール

参加者 411 名

出演団体

(出演順)

	所在地	文化財名称（所在地）	出演団体
1	静岡県	島田鹿島踊（島田市）	島田鹿島踊保存会
2	茨城県	潮来ばやし（潮来市）	潮来ばやし保存会
3	群馬県	千本木龍頭神舞（伊勢崎市）	千本木龍頭神舞保存会
4	栃木県	玉田囃子（鹿沼市）	玉田下組囃子保存会
5	千葉県	鶴峯八幡の神楽（市原市）	鶴峯八幡宮十二座神楽保存会
6	埼玉県	金谷の餅つき踊り（東松山市）	金谷の餅つき踊り保存会
7	静岡県	由比のお太鼓祭（静岡市）	豊積神社お太鼓祭り保存会

イ ふじのくに無形民俗文化財保存継承アドバイザー支援

『静岡県文化財保存活用大綱』に掲げる無形民俗文化財保護団体への支援として、民俗文化財の専門家 4 名をふじのくに無形民俗文化財保存継承アドバイザーに任命し、今後 5～10 年以内に継承が途絶える可能性がある、のべ保護団体 6 団体の意見を聞くとともに、継承に向けた助言を行った。

ウ 静岡県無形民俗文化財保存継承ネットワーク会議

無形民俗文化財を保存継承する保護団体は、地域社会の変容などにより、その保存継承に不安を抱えているため、その解決の方向性を探ることを目的に、保存継承のための国及び県の施策説明、保護団体間の課題・解決策の共有の場として静岡県無形民俗文化財保存継承ネットワーク会議をワークピア磐田（磐田市）で開催した。

開催日時 令和 7 年 2 月 21 日（金）

会 場 ワークピア磐田（磐田市） オンライン併用

参 加 者 県内の保護団体 25 団体、20 市町の文化財担当者

エ Web コンテンツ等魅力発信事業

文化財ポータルサイト「レガシズ」内に、無形民俗文化財の情報を一元的に発信する、「しずおか無形民俗文化財ナビ」を開設した。サイトでは、県内各地で伝承される国・県指定の無形民俗文化財の行事内容の開説や紹介動画とともに、現地で鑑賞するためのツールとしても活用することができるように、開催情報を紹介している。

また、無形民俗文化財の PR 動画を制作し、Web 広告などの媒体で発信し、無形民俗文化財を知らない世代などにも価値や魅力を広く周知した。

5 研 修

令和2年3月に策定した静岡県文化財保存活用大綱の基本方針2「文化財を支える多様な人材の育成」の取組として、文化財の保存・活用を担う文化財行政職員と地域人材に対する研修を行った。

(1) 文化財行政職員研修等

ア 文化財行政所管課長会議

令和6年4月26日に静岡県男女共同参画センターあざれあにおいて、県内市町の文化財行政所管課長を対象に文化財をめぐる近年の動向と本年度の県の計画を周知し、県市町における文化財の連携を図る会議を開催した。参加者35名に対して、県文化財課職員の説明と質疑応答、公益財団法人静岡県観光協会の秋田修氏による文化財の観光活用に関する講義を行った。

イ 文化財行政基礎研修会

令和6年5月10日に静岡県庁において、県内の文化財行政に新たに配属された職員を主な対象として、文化財の体系や文化財行政のしくみなど、恒常的に生じる文化財行政の業務に必要な基礎知識の習得を図る研修会を開催した。参加者34名に対して、県文化財課職員の説明と質疑応答、意見交換を行った。

ウ 文化財実務研修会

令和6年6月20日に静岡県庁において、県内市町の文化財行政職員等を対象として、指定文化財等の保存・活用に関する適切な事務の徹底と実務の習得を図る研修会を開催した。今回は、文化的景観とその保全の実際をテーマとして、参加者29名に対して、県文化財課職員の説明のほか、文化庁文化財第二課文化財調査官の永井ふみ氏による講義と質疑応答、個別相談を行った。

エ 文化財地域計画研修会・文化財保存活用実践研修会

令和6年7月31日に静岡市歴史博物館において、県内市町の文化財行政担当職員を対象として、文化財保存活用地域計画による地域の文化財の総合的な保存活用を促進する研修会を開催した。また、近世・近代遺跡や3Dといった新たな文化財保存・活用に向けた知識等を習得する研修会を開催した。参加者計26名に対して、県文化財課職員による地域計画の説明、文化庁文化財第二課文化財調査官の桑波田武志氏による近世・近代の埋蔵文化財の講義と質疑応答、公立小松大学次世代考古学研究センター特任准教授の野口淳氏による文化財への3D活用の講義と質疑応答を行った。

オ 文化財補助金事務研修会

令和7年1月10日にオンライン開催により、県内市町の文化財行政所管課で補助事業を担当している職員を対象として、地域の文化財の継承のために積極的な補助制度の活用を促すとともに、次年度の国・県補助事業の申請の実務と留意事項について説明し、不備のない事務と適切な執行を図る説明会を開催した。参加者42名に対して、県文化財課職員の説明を行った。

カ 文化財資金調達研修会

令和6年8月27日にクリエート浜松、令和6年10月18日に富士文化交流センターにおいて、県内市町の文化財行政担当職員と文化財所有者等を対象として、クラウドファンディングなどの資金調達の仕組みやノウハウを周知し、文化財の保存活用の取組を促進する研修会を開催した。参加者計27名に対して、県文化財課職員の説明と意見交換、READYFOR株式会社の担当者による講義と個別相談を行った。

(2) 地域人材研修

ア 文化財を支える地域活動研修会

令和7年2月7日に掛川市の大日本報徳社仰徳記念館において、県内各地の文化財関係者と観光、商工、まちづくりなど多様な関係者を対象として、地域社会総がかりによる文化財の継承に向けた取組の方法を学ぶ研修会を開催した。35名の参加者に対して、文化財活用実践の研修として公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローMICE誘致推進課長の松井良彰氏によるユニークベニューの講義を行った後、「文化財の保存と活用の活動計画ー遠州の町並みと建造物ー」をテーマにグループワークを行った。

イ 文化財ガイドの育成

令和7年3月13日に磐田市立中央図書館において、文化財をガイドする活動に関わっている者を対象として、来訪者を引きつけ文化財の魅力を伝えるためのガイドの留意点や工夫を学ぶ研修会を開催した。33名の参加者に対して、磐田市観光ボランティア「ふれあいガイドの会」による旧見付学校周辺のガイドを実施した後、NPO法人ホールアース自然学校の津田和英氏による講座と質疑応答を行った。

ウ 建造物監理士

(ア) 建造物監理士実践力向上講習会（実測演習）

令和6年8月17日、18日に掛川市の旧山崎家住宅において、実測演習の講習会を開催した。参加者11名に対して、一般財団法人京都伝統建築技術協会の濱野豪氏による説明と平面を中心にグループで実測及び計画寸法の考え方を発表した。

(イ) 文化財建造物修理現場見学会

令和6年11月16日に静岡浅間神社において、修理現場見学会を開催した。参加者13名に対して、静岡浅間神社、公益財団法人文化財建造物保存技術協会、清水建設株式会社による説明と質疑応答を行った。

(ウ) 建造物監理士実践力向上講習会（修理報告書講読等）

令和6年12月7日に静岡労政会館において、修理報告書講読の講習会を開催した。参加者13名に対して、愛知工業大学名誉教授の杉野丞氏による修理工事のプロセス、報告書の作成についての説明と質疑応答を行った。

第2部 埋蔵文化財の保護

1 事業概要

本県では、文化財に関わる保存・活用事業のうち、埋蔵文化財に係る調査及び研究、知識の普及及び啓発等のために、静岡県清水区蒲原に静岡県埋蔵文化財センターを設置している。

埋蔵文化財センターでは、①国や県等が本県内で実施する公共事業に伴う記録保存のための発掘調査の実施、②発掘調査の成果や出土文化財を用いた普及公開事業と関連機関との連携、③発掘調査等によって得られた出土文化財の保管・管理の3項目を主要な事業としており、『静岡県文化財保存活用大綱』に基づき、各種事業を実施した。

年間の主な事業

月	発掘調査事業	普及公開事業
4月		
5月		18 第1回 考古学技術体験 22 「令和5年度考古学技術体験成果品展」(～7月11日)
6月		
7月	2 平塚遺跡 試掘・確認調査 荒工遺跡、東大平遺跡、上原遺跡、吉祥寺廃寺、 西浦立保長津崎石丁場遺跡、曲金北遺跡、 川合遺跡 資料整理(～3月) 東田遺跡 現地調査(～3月)	13 第1回 埋文セミナー「尾羽廃寺跡の発掘調査」 セミナー関連展示(～9月18日) 17 第2回 考古学技術体験 30 『ふじのくに考古通信』Vol.27 刊行
8月	14 志妻遺跡 試掘・確認調査	24 古代体験まつり「フェスタ埋文2024」
9月	20 丸尾氏館跡 試掘・確認調査	19 第2回 埋文セミナー「富士川SA周辺の遺跡」 セミナー関連展示(～10月31日)
10月	16 釣古墳群 試掘・確認調査 敷根石丁場遺跡 現地調査(～3月)	2 出張展「里帰り展 縄文時代の道具」 (会場：牧之原市坂部区民センター ～11月28日) 16 第3回 考古学技術体験
11月		9 遺跡調査報告会「しずおかの原像をさぐる」 (会場：蒲原生涯学習交流館) 16 第3回 埋文セミナー「蒲原の遺跡」 セミナー関連展示(～12月13日)
12月	16 曲金A遺跡 試掘・確認調査(～18日)	
1月	24 丸尾氏館跡 試掘・確認調査	8 出張展「里帰り展 大昔の東伊豆」 (会場：東伊豆町立図書館 ～2月2日) 15 第4回 考古学技術体験
2月	5 中桁・中ノ坪遺跡近接地 試掘・確認調査	6 中央四県文化財交流事業静岡企画 (会場：県立美術館 ～3月1日) 22 中央四県文化財交流事業静岡企画講演会 (会場：県立美術館)
3月	11 中桁・中ノ坪遺跡近接地 試掘・確認調査 (～13日)	24 『ふじのくに考古通信』Vol.28 刊行

2 埋蔵文化財

(1) 静岡県及び市町の調査体制（令和6年4月1日時点）

地方公共団体	埋蔵文化財専門職員数			
	本庁		関係機関	
	正規	有期	正規	有期
静岡県	7		10	
静岡市	7	5		
浜松市	4			
沼津市	4	1	2	
熱海市				
三島市	1	1	1	
富士宮市	2			
伊東市				
島田市	2	2		
富士市	2		1	
磐田市	10			
焼津市			2	1
掛川市	4			
藤枝市	1			
御殿場市	1			
袋井市	7	1		1
下田市				
裾野市				

地方公共団体	埋蔵文化財専門職員数			
	本庁		関係機関	
	正規	有期	正規	有期
湖西市	1	1		
伊豆市	1			
御前崎市	1			
菊川市	1			
伊豆の国市	2			
牧之原市				
東伊豆町				
河津町				
南伊豆町				
松崎町				
西伊豆町	1			
函南町	1			
清水町	1			
長泉町				
小山町				
吉田町				
川根本町				
森町				
合計	61	11	16	2

埋蔵文化財専門職員数

地方公共団体	本庁		関係機関	
	正規	嘱託	正規	嘱託
県	7	0	10	0
市町	54	11	6	2
合計	61	11	16	2

(2) 遺跡周知事業の実施

遺跡の周知徹底を図るため、平成23年度から、県統合基盤地理情報システムのインターネット公開を開始している。また、周知の埋蔵文化財包蔵地に関する情報を確認し、適宜訂正した。

ア 新規登録

No.	遺跡の名称	所在地
1	前屋敷遺跡	磐田市敷地字前屋敷
2	蔵平中世墓遺跡	磐田市敷地字蔵平
3	蔵平遺跡	磐田市敷地字蔵平

イ 内容変更（範囲変更）

No.	遺跡の名称	所在地
1	古田遺跡	沼津市原字古田
2	梅橋遺跡	掛川市梅橋
3	報地遺跡	掛川市大坂
4	尾上Ⅲ橋遺跡	沼津市足高尾上
5	東田遺跡	富士宮市中里東町・貴船町
6	中下遺跡	掛川市上西郷字中山ほか
7	上障子遺跡	沼津市下香貫字上障子
8	又七遺跡	浜松市中央区富塚町
9	向田Ⅰ遺跡	浜松市浜名区於呂字向山
10	増楽町村北遺跡	浜松市中央区増楽町
11	正楽寺遺跡	浜松市浜名区引佐町井伊谷正楽寺
12	川田・東原田遺跡	菊川市下平川字東原田
13	白岩下遺跡	菊川市加茂字東狭間

No.	遺跡の名称	所在地
14	白岩東狭間遺跡	菊川市加茂字東狭間
15	神田遺跡	浜松市中央区神田町
16	北屋敷遺跡	磐田市敷地字北屋敷
17	尾上遺跡	沼津市足高字尾上
18	西山遺跡	菊川市東横地字西山
19	川原ヶ谷城跡	三島市加茂川町
20	徳倉Ⅱ遺跡	三島市徳倉（大新田）
21	富士岡3古墳群	富士市比奈字祢宜ノ前・富士岡字山ノ神戸
22	大屋敷遺跡	浜松市浜名区宮口字大屋敷
23	下岡遺跡	沼津市青野字赤根畑
24	赤松遺跡	三島市萩（赤松下）
25	白陰林B遺跡	三島市芙蓉台（佐野曲松下）

ウ 内容変更（滅失）

No.	遺跡の名称	所在地
1	水掛渡古墳群B群	島田市上船木
2	富士岡4古墳群	富士市富士岡字山ノ神戸
3	北山路B遺跡	三島市芙蓉台（徳山奥山路）

（3）埋蔵文化財に係る届出等の周知

文化財の適切な保護を図るため、県・市町等の土木事業担当職員を対象とした交通基盤部の研修会等で、埋蔵文化財に係る法手続き、取扱いを説明した。

(4) 静岡県実施の試掘・確認調査

開発事業者と関係市町、静岡県埋蔵文化財センターとの間で、適切な発掘調査の実施や調査費用算定の資料を得るために、埋蔵文化財包蔵地内外で試掘・確認調査を実施し、国道整備事業などの大規模開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の適正かつ円滑な実施に努めた。

《実施場所》

No	遺跡名	事業名	調査期間
1	湯川砦跡	狩野川徳倉湯川地区護岸整備工事	令和6年6月13日
2	平塚遺跡	農道稲取3号整備事業	令和6年7月5日
3	丸尾氏館跡	(都) 田端宝野線街路整備事業	令和6年9月20日 令和7年1月24日
4	志妻遺跡	見高農道1号整備事業	令和6年8月14日
5	釣古墳群	経営体樹園地再編整備三ヶ日中部地区園内道1工事	令和6年10月16日
6	曲金A遺跡	合同宿舍小鹿住宅建替工事	令和6年12月16日～18日
7	東田遺跡	都市計画道路事業田中青木線工事	令和7年2月10日～11日、 13日
8	中桁・中ノ坪遺跡近接地	ふじさん工業水道岳南導水管ポンプ場設置工事	令和7年2月5日 令和7年3月11日～13日
9	東熊堂荒狗遺跡・馬見塚古墳群ほか	東駿河湾環状道路建設	令和6年6月21日 ～9月30日 令和6年11月12日 ～12月25日

《結果概要》

1 ゆかわとりであと 湯川砦跡

調査原因 狩野川徳倉湯川地区護岸整備工事

調査期間 令和6年6月13日

調査場所 駿東郡清水町湯川地先

調査面積 約8㎡

担当者 勝又直人

遺跡の概要 北条氏が、戸倉城攻めの際に設けた陣所の可能性が指摘されている。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 なし

概要 2か所の試掘坑を掘削した。表土下にオリーブ褐色や灰色のシルト・砂や砂礫が堆積しており、一部にはラミナ状の堆積も認められたことから、河川堆積物と思われる。遺構、遺物とも確認できなかった。



位置図 (1/25,000)

2 ^{ひらつか}平塚遺跡

調査原因 農道稲取3号整備事業
調査期間 令和6年7月5日
調査場所 賀茂郡東伊豆町稲取地内
調査面積 約1㎡
担当者 富樫孝志・中川律子・勝又直人
遺跡の概要 縄文時代の遺跡として登録されているが、発掘調査の履歴はない。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 なし
概要 0.5m×2mの試掘坑を掘削した。表土下に茶黄褐色土、黄褐色土、橙褐色土が堆積していた。橙褐色土は、赤色スコリアや基盤の岩盤由来と思われる火山岩の風化礫が含まれていた。



位置図 (1/25,000)

3 ^{まるおしやかた}丸尾氏館跡

調査原因 (都) 田端宝野線街路整備事業
調査期間 令和6年9月20日、令和7年1月24日
調査場所 袋井市高尾
調査面積 約36㎡、約17㎡
担当者 武田寛生
遺跡の概要 戦国時代の武将、丸尾氏の館跡の推定地とされている。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 なし
概要 1m×18mのトレンチを2本、1.5m×11mのトレンチを1本掘削し、いずれも表土直下で地山を確認した。一部で、谷を埋め立てた大規模な土地造成が行われたことを確認した。



位置図 (1/25,000)

4 ^{しづま}志妻遺跡

調査原因 見高農道1号整備事業
調査期間 令和6年8月14日
調査場所 賀茂郡河津町見高地内
調査面積 約3.9㎡
担当者 富樫孝志・勝又直人
遺跡の概要 縄文時代中期の土器が採集された記録があるが、発掘調査の履歴はない。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 なし
概要 1m×3.9mの試掘坑を1か所設定した。表面の草を刈った時点で、風化礫やパミスを含んだ地層が露出しているのを確認した。0.5m掘削したところで、火山噴出物を含む地層を確認したため、これを地山と判断した。



位置図 (1/25,000)

5 つり 釣古墳群

調査原因 経営体樹園地再編整備三ヶ日中部地区園内道
1 工事

調査期間 令和6年10月16日

調査場所 浜松市浜名区三ヶ日町釣

調査面積 約3㎡

担当者 中川律子・勝又直人

遺跡の概要 古墳時代後期の群集墳である。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 なし

概要 0.5m×2mの試掘坑を3か所掘削した。いずれも表土直下で暗黄褐色土を確認し、これを地山と判断した。



位置図 (1/25,000)

6 まがりかね 曲金A遺跡

調査原因 合同宿舎小鹿住宅建替工事

調査期間 令和6年12月16日～18日

調査場所 静岡市駿河区小鹿三丁目228-17

調査面積 約70㎡

担当者 中川律子

遺跡の概要 弥生時代～中世の集落、水田跡として知られており、発掘調査、確認調査の事例は多い。

調査の結果

主な遺構 小畦畔 主な遺物 木製品

概要 5m×5mの試掘坑を2か所、5m×3mの試掘坑を1か所掘削した。1か所で弥生時代～古墳時代と思われる小畦畔を確認し、1か所では、奈良時代～平安時代の地層から、木製品が1点出土した。



位置図 (1/25,000)

7 ひがしだ 東田遺跡

調査原因 都市計画道路事業田中青木線工事

調査期間 令和7年2月10日～11日、13日

調査場所 富士宮市中里東町439

調査面積 約12㎡

担当者 中川律子

遺跡の概要 古墳時代～平安時代の集落跡で、富士宮市教育委員会により発掘調査された履歴がある。

調査の結果

主な遺構 柱穴 主な遺物 土器

概要 2m×2mの試掘坑を3か所掘削した。地表下30cm～50cmで遺物包含層があることを確認し、その直下で柱穴を検出した。



位置図 (1/25,000)

8 なかがた なか つぼ 中桁・中ノ坪遺跡近接地

調査原因 ふじさん工業水道岳南導水管ポンプ場設置工事

調査期間 令和7年2月5日、3月11日～13日

調査場所 富士市伝法

調査面積 約50㎡

担当者 中川律子・勝又直人

遺跡の概要 周知の埋蔵文化財包蔵地の近隣であるが、周囲に比べて標高が低い場所であるため、当初、埋蔵文化財が存在する可能性は低いと考えられていた。

調査の結果

主な遺構 竪穴建物跡、土坑 **主な遺物** 土師器
概要 2m×2mの試掘坑を設定して掘削した。いずれの試掘坑でも平安時代の遺物包含層と竪穴建物跡等の遺構を確認した。



位置図 (1/25,000)

9 (1) 周知外 (東駿河湾No.5)

調査原因 東駿河湾環状道路建設

調査期間 令和6年6月21日～9月30日

調査場所 沼津市東熊堂

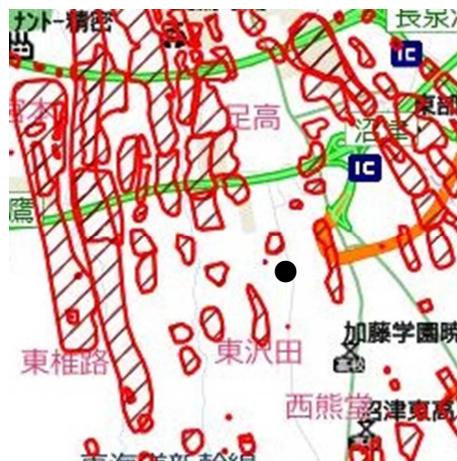
調査面積 30㎡

担当者 勝又直人

遺跡の概要 当遺跡は東名高速道路沼津ICから南西へ約1km離れた地点に位置し、愛鷹山南麓の標高約90m付近に位置する。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** なし
概要 7か所の試掘坑を設定し、地表下約2mまで調査を実施した。いずれの試掘坑でも遺構・遺物は発見されなかった。



位置図 1/25,000

9 (2) ひがしくまんどうあらく 東熊堂荒狗遺跡 (東駿河湾No.6)

調査原因 東駿河湾環状道路建設

調査期間 令和6年6月21日～9月30日

調査場所 沼津市西熊堂

調査面積 6㎡

担当者 勝又直人

遺跡の概要 当遺跡は東名高速道路沼津ICから南西へ約1.3km離れた地点に位置し、愛鷹山南麓の標高約80m付近に位置する。

調査の結果

主な遺構 なし **主な遺物** なし
概要 1か所の試掘坑を設定し、地表下約2.5mまで調査を実施した。傾斜地で造成土が厚く堆積していた。遺構・遺物は発見されなかった。



位置図 1/25,000

9 (3) 荒工遺跡 (東駿河湾No.8)

調査原因 東駿河湾環状道路建設

調査期間 令和6年6月21日～9月30日

調査場所 沼津市中沢田

調査面積 32 m²

担当者 勝又直人

遺跡の概要 当遺跡は東名高速道路沼津ICから南西へ約1.7km離れた地点に位置し、愛鷹山南麓の標高約76～78m付近に位置する。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 なし

概要 8か所の試掘坑を設定し、地表下約2.0mまで調査を実施した。耕作時の攪乱が深く及ぶ箇所もあり、遺構・遺物は発見されなかった。



位置図 1/25,000

9 (4) 馬見塚古墳群その1 (東駿河湾No.11)

調査原因 東駿河湾環状道路建設

調査期間 令和6年6月21日～9月30日

令和6年11月12日～12月25日

調査場所 沼津市西沢田

調査面積 226 m²

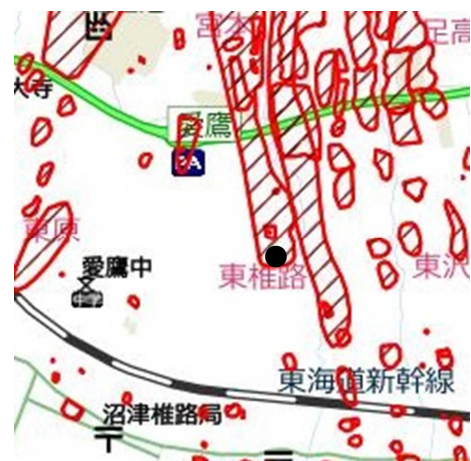
担当者 勝又直人

遺跡の概要 当遺跡は東名高速道路沼津ICから南西へ約2.3km離れた地点に位置し、愛鷹山南麓の標高約71～73m付近に位置する。

調査の結果

主な遺構 なし 主な遺物 なし

概要 4本のトレンチ及び4か所の試掘坑を設定し、地表下約1.5mまで調査を実施した。近現代の畑に由来する溝や土坑以外に、遺構・遺物は発見されなかった。



位置図 1/25,000

3 埋蔵文化財の保存

(1) 記録保存調査及び保存処理業務の実施

令和6年度に実施した記録保存調査は表のとおり、現地調査4件、資料整理（整理作業）7件、保存処理事業5件である。また、4冊の報告書を刊行した。

記録保存調査及び保存処理業務の概要

No.	事業名等	遺跡名等	調査期間	調査面積等	調査依頼者
1	(都) 田端宝野線街路整備事業	大門遺跡・ 大門Ⅲ遺跡	令和6年6月 ～令和7年3月	1,257 m ²	袋井土木事務所
2	交番・駐在所建設事業 (裾野警察署深良交番新設)	上原遺跡	令和6年6月～8月、 令和6年9月 ～令和7年3月	88 m ² 整理作業	静岡県警察本部
3	(都) 田中青木線街路整備事業	東田遺跡	令和6年7月 ～令和7年3月	978 m ²	富士土木事務所
4	河津下田道路建設	敷根石丁場遺跡	令和6年10月 ～令和7年3月	1,775 m ²	国土交通省 沼津河川国道事務所
5	東駿河湾環状道路建設	荒工遺跡	令和6年7月 ～令和7年3月	整理作業	国土交通省 沼津河川国道事務所
6	東駿河湾環状道路建設	東大平遺跡	令和6年7月 ～令和7年3月	整理作業	国土交通省 沼津河川国道事務所
7	(一) 県道菰山伊豆長岡修善寺 線社会資本整備総合交付金 (県道道路改築・一般) 事業	吉祥寺廃寺	令和6年7月 ～令和7年3月	整理作業	沼津土木事務所
8	(主) 沼津土肥線道路改築	西浦立保長津崎 石丁場遺跡	令和6年7月 ～令和7年3月	整理作業	沼津土木事務所
9	新県立中央図書館整備事業	曲金北遺跡	令和6年7月 ～令和7年3月	整理作業	教育委員会 新図書館整備課
10	県立静岡東高校老朽化対策事業	川合遺跡	令和6年7月 ～令和7年3月	整理作業	教育委員会 教育施設課
11	重要文化財登呂遺跡出土品 保存処理業務	登呂遺跡	令和6年5月 ～令和7年3月	保存処理	静岡市
12	県内市町保存処理業務	宗小路19号墳、 井庄段古墳群	令和6年11月 ～令和7年3月	保存処理	静岡市
13	県内市町保存処理業務	比奈1古墳群	令和6年6月 ～令和7年3月	保存処理	富士市
14	県内市町保存処理業務	多田大塚6号墳、 芋ヶ窪2号墳	令和6年6月 ～令和7年2月	保存処理	伊豆の国市
15	県内市町保存処理業務	日向遺跡	令和6年10月 ～令和7年3月	保存処理	小山町

(2) 記録保存調査の概要

令和6年度に実施した記録保存調査について、遺跡ごとに調査及び成果の概要を報告する。刊行した発掘調査報告書については、後述する。

1 ^{だいもん}大門遺跡・大門Ⅲ遺跡

所在地 袋井市高尾地内

調査原因 (都) 田端宝野線街路整備事業

調査期間 令和6年6月～令和7年3月

調査面積 1,257 m²

担当者 武田寛生・鈴木伸太郎

位置・立地 大門遺跡及び大門Ⅲ遺跡は、JR東海道線袋井駅の南東に位置し、小笠山丘陵先端の丘陵上及び南側斜面に立地する。

主な遺構 方形周溝墓、掘立柱建物跡、河川跡、屋敷溝

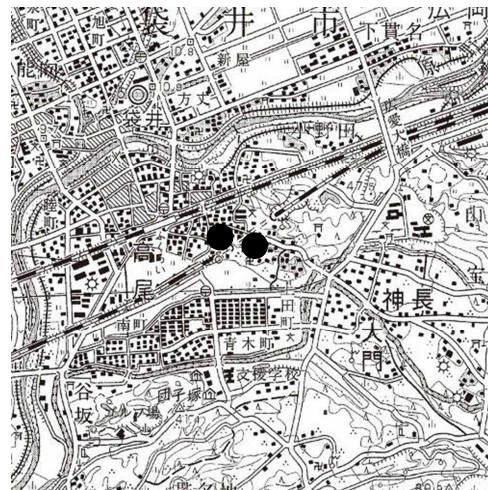
主な遺物 弥生土器、山茶碗、近世陶磁器

調査の成果 大門遺跡については、令和5年度調査区の北側にあたる現道(市道)部分(6・7区)と、新幹線の線路を挟んだ東側の延伸部分(9・10区)、及び延伸部分に接続する取付道路部分(11・12区)の計6調査区、合計

1,190 m²を対象に発掘調査を実施した。調査の結果、6・7区では、古墳時代の隅丸方形の竪穴建物跡が1基検出された。また、掘立柱建物跡1基を含む柱穴が多数検出されたほか、土坑や溝跡等も発見された。弥生時代～近世の土器が出土している。9・10区では、弥生時代の方形周溝墓が計8基検出された。方台形が一辺約4.6m～9.3mの規模で四隅が土橋状に掘り残されており、周溝覆土中から土器がまとまって出土した。いずれも主体部は削平され残存しない。また、中世～近世の区画溝のほか、片側に円礫を石垣状に積んだ近世の屋敷溝が発見された。11・12区では土坑や溝跡等のほか、柱穴が多数検出されている。弥生時代～近世の土器が出土した。

大門Ⅲ遺跡については、令和4・5年度調査区の南西側にあたる67 m²を対象に発掘調査を実施した。調査の結果、弥生時代の方形周溝墓や中世・近世の河川跡等が検出された。遺物としては、弥生時代～近世の土器が出土している。

今後は、大門遺跡の現道部分の未調査部分を対象に発掘調査を実施する予定である。



位置図 1/50,000

国土地理院5万分1地形図(磐田) H21.4.1 発行



10区1号墓周溝内土器出土状況(南西から)



10区屋敷溝石垣検出状況(北西から)

2 上原遺跡

所在地 裾野市深良字上ノ原2372番11の一部
調査原因 交番・駐在所建設事業（裾野警察署深良交番新設）

調査期間 現地調査 令和6年6月～8月
資料調査 令和6年9月～令和7年3月

調査面積 88 m²

担当者 岩本 貴

位置・立地 上原遺跡は、JR 御殿場線裾野駅の北約 2.8km、箱根外輪山と愛鷹山に挟まれた富士山東南麓末端の溶岩流上に形成された台状の傾斜地に立地する。

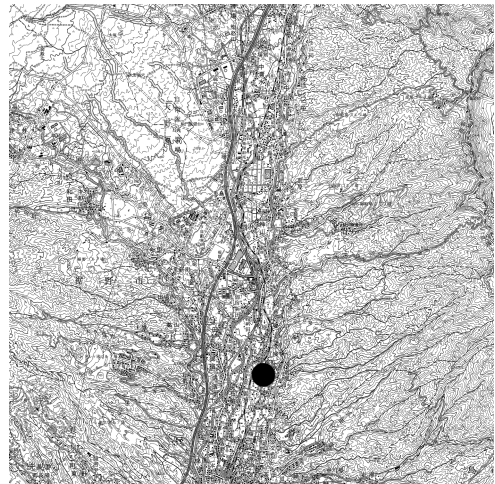
主な遺構 竪穴建物跡、柱穴、土坑、溝

主な遺物 土器、陶器

調査の成果 現地調査及び資料調査を実施し、調査報告書を刊行した。現地調査では竪穴建物跡 1 基、柱穴 7 基、土坑 3 基、溝 2 基、その他遺構 2 基

を検出した。出土品は、奈良～平安時代の土器が主体となることから、検出された遺構群も同時期のものと判断される。竪穴建物は調査対象地の北側で検出されており、過去実施された北側市道建設に伴う発掘調査で検出された竪穴建物群との位置関係から、建物群は市道及びその北側に展開するものと推測される。

出土品は、古代～中世の土器、陶器が認められたが、8 世紀後葉～9 世紀中葉を主体とする土器が主体となる。土師器の坏、甕、高坏などの器種が認められたが、中でも坏類の出土が目立ち、在来系のいわゆる駿東型の坏を主体として、甲斐型の坏が少量組成している状況がうかがえた。高坏は脚部破片が認められたが、柱状部を多角形に面取りする畿内系の型式であり、県東部では数少ない例のひとつとなった。今回の調査で特筆されるのは、坏に認められた墨書である。30 点程度確認されており、文字が判読できた 20 点は全て「十」と記したものであった。「十」と記した墨書土器は、市道調査区でも 10 点程度発見されており、それが墨書土器のほぼ全てであったことを考えると今回の調査成果は過去の調査成果をさらに補強するものとなった。



位置図 1/50,000

国土地理院 5 万分の 1 地形図「御殿場」平成 5 年 11 月 1 日発行



遺跡全景（東から）



「十」と書かれた墨書土器

3 ひがしだ 東田遺跡

所在地 富士宮市貴船町地内

調査原因 (都) 田中青木線街路整備事業

調査期間 令和6年7月～令和7年3月

調査面積 978 m²

担当者 岩崎しのぶ

位置・立地 JR身延線西富士宮駅から西に約500m離れた地点に位置し、潤井川左岸に広がる沖積地内の微高地上に立地する。

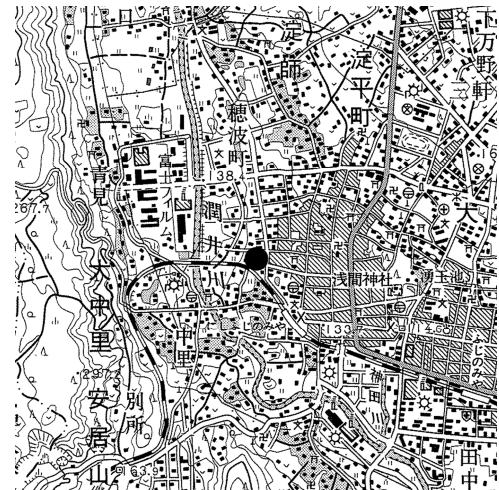
主な遺構 竪穴建物跡 掘立柱建物跡 石組カマド溝 土坑

主な遺物 土師器 須恵器 灰釉陶器 緑釉陶器 弥生土器 縄文土器 石器 石製品

調査の成果 事業対象地は、富士宮市貴船町から同中里東町にかけての南北338mをはかる道路新設用地である。今年度は貴船町10番地と11番地の発掘調査を実施した。

調査区の東側は基盤層まで削平され、西側は扇状地堆積物である砂質土が厚く堆積している。遺構は主に調査区の西側で検出された。竪穴建物跡は11基検出された。このうち7基は北壁または東壁にカマドを有する。カマドはいずれも破壊されており、破壊の際に燃焼室に土器を廃棄したものも確認できる。竪穴建物の構築時期は古墳時代後期と平安時代中期の2時期に分類することができる。掘立柱建物跡は調査区南側で1基検出された。直径約30cmの円形の柱穴で構成される東西3間×南北2間以上の側柱建物である。東田遺跡は平成20年度に富士宮市教育委員会が実施した発掘調査で、古墳時代前期と後期の集落遺跡であることが明らかにされているが、今回の調査によって、東田遺跡における集落域が南方に広がっていることが確認され、また、集落の継続時期が平安時代中期まで延びることも明らかにされた。

遺物は竪穴建物跡に伴って古墳時代後期の土師器と須恵器、平安時代中期の土師器、灰釉陶器、緑釉陶器が出土した。また、弥生土器、縄文土器、石器、石製品が包含層資料として出土した。



位置図 1/50,000

国土地理院 5万分の1地形図「富士宮」H5.12.1 発行



掘立柱建物跡 SB01 検出状況



竪穴建物跡 SH07 土師器出土状況

4 しきねいしちょうば 敷根石丁場遺跡

所在地 下田市敷根

調査原因 河津下田道路建設

調査期間 令和6年10月～令和7年3月

調査面積 1,775 m²

担当者 勝又直人

位置・立地 当遺跡は、伊豆急下田駅の西側山地に位置し、海底火山噴出物に由来する凝灰岩を切り出した遺跡で、周囲には多くの石丁場跡がある。遺跡東側には、冷え固まった海底火山のマグマが浸食により露出した火山岩頸である下田富士や寝姿山が位置し、過去の火山活動を今に伝える。

主な遺構 石丁場跡

主な遺物 土器・石製品等（近世～近現代）

調査の成果 現地調査は2か年にわたり行われた。初年度の調査は地形測量を中心に実施し、当該年度は石丁場跡の発掘を行った。

掘削を行った石丁場跡は全8か所を数える。当該石丁場跡一帯の地質は凝灰岩で、風化・浸食が進んでいる箇所も散見される。よって当該調査では、崩落等の危険性のある場所を避けて人力による掘削を行った。調査の結果、垂直に深く掘り下げた石丁場跡や、坑道状に掘り進めた石丁場跡、山の斜面を段々に掘り下げた石丁場跡などが見受けられ、操業時期や切り出した石材等により石丁場跡の形態が異なる可能性を認める。また操業停止後に廃石材及び廃石材細片を含む山砂層等で埋め戻された石丁場跡が多く、操業停止後の復旧行為と考えられる。

遺物としては土器片が表土中から出土しているが、少量で石丁場操業時に使用されたものかは判然としない。またNo.5地点においては鍛冶道具と考えられる石製品が出土している。石丁場の職人が日々の作業に使用する工具の手入れに使用した可能性があり、操業時の石丁場の姿を想起させる。

次年度は2か年にわたり行われた現地調査データをもとに、資料整理及び報告書の刊行を行う予定である。



位置図 1/50,000

国土地理院5万分1地形図(下田) 平成9年8月1日発行



斜面に残る石材を切り出した痕跡



調査された石丁場

5 ^{あらく} 荒工遺跡

所在地 沼津市中沢田

調査原因 東駿河湾環状道路建設

調査期間 令和6年7月～令和7年3月

担当者 木崎道昭

遺跡の概要 愛鷹山南麓の丘陵部に位置する集落遺跡。縄文早期末葉の打越式土器おっこしが大量に出土した。弥生後期の竪穴建物跡2基も検出されており、丘陵上部から続く当該期の大集落群の南側末端部である可能性が高い。

調査の成果 本年度は資料整理作業と報告書執筆を行った。記録類の整理作業では図面編集・トレース・版組（図・写真）、現地撮影の写真類の整理を実施した。遺物の整理作業では仕分け・接合を行い、報告書掲載用の遺物を抽出した。土器片は拓本・断面実測を行い、復元可能な土器は復元作業を行った。石器類は実測作業を行い、報告書用の写真撮影を行った。土器・石器類ともに実測が終了したものはトレース作業を実施し、報告書の写真図版を作成した。整理作業・報告書作成作業は令和7年度に継続し、同年度中に報告書刊行の予定である。なお、作業途中で、出土遺物中に旧石器時代のナイフ形石器があることが判明した。



縄文時代の遺物出土状況

6 ^{ひがしおおひら} 東大平遺跡

所在地 沼津市東沢田 728

調査原因 東駿河湾環状道路建設

調査期間 令和6年7月～令和7年3月

担当者 岩本 貴

遺跡の概要 JR 沼津駅の北約 3.6km の愛鷹山山麓標高 82m 付近の緩斜面に位置する弥生時代の集落跡として登録されている遺跡である。遺跡の北約 1.3km には東部運転免許センターがあり、同施設建設に先立つ発掘調査では数百軒に及ぶ弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭の竪穴建物跡が発見された植出遺跡が立地している。

調査の成果 令和5年度に実施した現地調査に係る資料調査を実施した。調査の結果、尾根を横断する検出延長42mの溝状遺構（SD1、SD4）は、弥生時代後期後半～古墳前期初頭のものと判断し、竪穴建物の可能性をもつ遺構の存在から、当該期の集落跡の一部であったと結論付けた。

東大平遺跡が立地する愛鷹山南麓には足高尾上遺跡群と呼ばれる約2キロ四方に及ぶ弥生時代後期後半～古墳前期初頭の大集落が形成されることが知られているが、今回の調査により、同時期の遺構が同遺跡群の南側でも確認されたこと、土器の一部に弥生後期中葉に遡る資料が存在することが明らかになり、遺跡群成立の有り様を考える上で参考となる成果となった。



尾根を横断する大溝（SD1）

7 吉祥寺廃寺

所在地 伊豆の国市南江間

調査原因 (一) 県道韮山伊豆長岡修善寺線
社会資本整備総合交付金（県道道路改築・一般）
事業

調査期間 令和6年7月～令和7年3月

担当者 岩名建太郎

遺跡の概要 吉祥寺は、文献資料上では、延文元（1356）年以降、その名が見え、寛政12（1800）年の段階で、既に廃絶していたとされる臨済宗寺院である。今回の調査区を含む静浦山地東端丘陵裾部から狩野川中流左（西）岸の自然堤防上に位置していたと推定されている。

調査の成果 前年度に実施された現地発掘調査の成果をもとに、資料調査を行い、発掘調査報告書を刊行した。埋没原位置が保持されていない縄文・弥生時代の遺物散布から、近接地に未知の同時代遺跡が存在することが推察されたほか、当該自然堤防上の古墳～古代の集落展開が、従来、把握されていた範囲よりも南側に大きく延びることを確認した。また、当該地区の中・近世地割変遷の復原材料として、検出遺構の主軸方向と近世から残る周辺道路・水路との位置関係対比情報をまとめた。



中・近世に比定される溝

8 西浦立保長津崎石丁場遺跡

所在地 沼津市西浦立保

調査原因 (主) 沼津土肥線道路改築

調査期間 令和6年7月～令和7年3月

担当者 木崎道昭

遺跡の概要 令和3年度、近世の遺跡として登録された石丁場である。地元、寛永年間に行われた江戸城改築の際、駿河徳川家が沼津市の旧立保村などで採石をしたとの古文書が残っていることから、この石丁場も駿河徳川家が管理していた可能性がある。

調査の成果 調査範囲内で3点の矢穴石を確認した。2点は直径1m程の丸い石に矢穴を穿ってある。1点は1.9m×1.6mの扁平な大石で、矢穴によって分割された状態である。この場所で分割されたのか、別の場所で分割して運搬されてきたのかは不明である。3点の矢穴の大きさを、周辺で調査された石丁場の矢穴の大きさと比べると、明らかに小さいことが判明した。これが石丁場の操業時期の違いによるものか、工人集団の違いによるものかは、今後の課題である。



矢穴石の検出状況

9 まがりかねきた 曲金北遺跡

所在地 静岡市駿河区東静岡

調査原因 新県立中央図書館整備事業

調査期間 令和6年7月～令和7年3月

担当者 中川律子

遺跡の概要 曲金北遺跡は、JR 東静岡駅の南に存在し、安倍川扇状地の東側に広がる沖積平野に位置する。周辺は、長沼遺跡、曲金A遺跡、曲金B遺跡、曲金C遺跡があり、弥生時代後期から奈良・平安時代の水田跡が展開している。

調査の成果 令和5年度の発掘調査の結果、奈良・平安時代から弥生時代後期まで遡る水田が一带に広がっていることが明らかとなった。本年度の資料整理では、出土した土器や木製品の分類、接合、実測、写真撮影、版組み（図・写真）、記録類の図面編集、版組（図・写真）、観察表作成等のほか、木製品の保存処理（前半処理）と金属製品の保存処理（クリーニング等）作業を行った。また自然科学分析として、種実同定調査と、木製品の樹種同定調査を実施し、その成果を得た。次年度は、継続して資料整理を行い、発掘調査の成果をまとめた報告書を刊行する予定である。



出土品（木製品）写真撮影

10 かわい 川合遺跡

所在地 静岡市葵区市川合地内

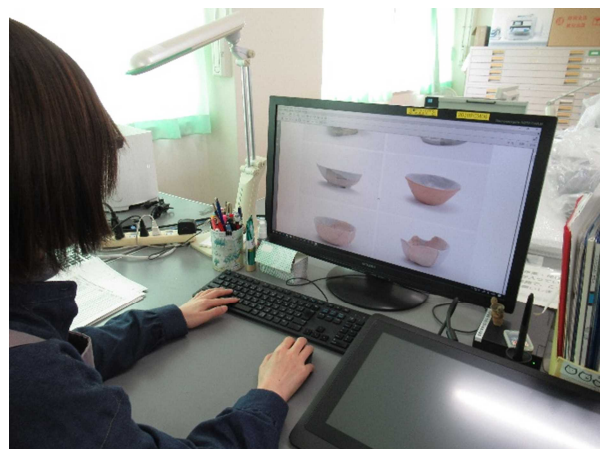
調査原因 県立静岡東高校老朽化対策事業

調査期間 令和6年7月～令和7年3月

担当者 中鉢賢治

遺跡の概要 川合遺跡は、静岡平野の北東部、JR 東静岡駅の北方約2.8kmに広がる遺跡で、長尾川と巴川に挟まれた沖積地の中に形成された自然堤防上に立地している。弥生時代から律令期を中心とする静岡平野北部の重要遺跡として位置づけられている。

調査の成果 昨年度実施した現地調査を引き継ぎ、調査で作成した図面等の記録類や出土した遺物の資料化と木製品・金属製品の保存処理作業を行った。記録類では、3面にわたる調査面の各全体図、個別遺構図、写真図版等の作製、出土遺物については、注記、分類、接合、復元、実測、トレース、図面編集の他、写真撮影及び写真図版の作製を行った。今年度の資料整理の結果、出土遺物は、古墳時代後期から近世までの幅広い年代のものが出土していることや、遺跡の中心となる律令期の遺物は、平安時代中期にあたる9世紀末から10世紀前半にある程度のまとまりが見られることが分かった。



出土遺物図版作製作業

(3) 保存処理業務

令和6年度は、木製（有機質）遺物及び金属製遺物の保存処理を実施した。

ア 木製（有機質）遺物の保存処理

木製（有機質）遺物の保存処理では、県事業に伴うものとして曲金北遺跡（静岡市）、川合遺跡（静岡市）から出土した木製遺物の保存処理を実施した。また、市町からの受託事業として重要文化財登呂遺跡出土品（静岡市）の保存処理を実施した。

木製遺物の保存処理は、小型で薄いものは真空凍結乾燥処理、大型材はポリエチレングリコール（PEG）含浸法で段階的に濃度を上昇させて形状を安定させた。また、登呂遺跡出土品のように乾燥してしまっている遺物にはアクリル樹脂の減圧含浸を行った。安定化処理後は、折損した遺物をすべて接合し、欠損部を補填材で充填・整形し、アクリル絵具で彩色した。

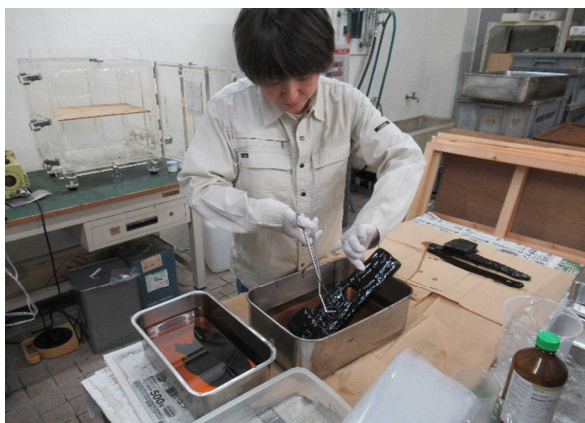
登呂遺跡出土品では強度が著しく不足しているものがあり、それらを安全に維持するためにエポキシ樹脂製の台座を2点作製した。

イ 金属製遺物の保存処理

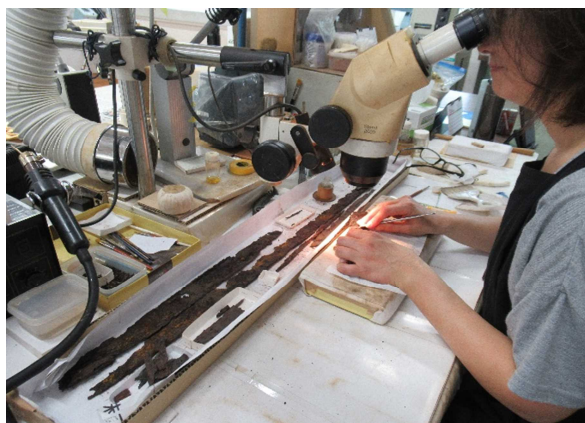
金属製遺物の保存処理では、県事業に伴うものとして吉祥寺廃寺（伊豆の国市）、曲金北遺跡（静岡市）、川合遺跡（静岡市）から出土した金属製遺物の保存処理を実施した。また、市町からの受託事業として宗小路古墳群19号墳出土品ほか（静岡市）、比奈1古墳群出土品（富士市）、多田大塚古墳群出土品ほか（伊豆の国市）、日向遺跡出土品（小山町）の保存処理を実施した。

金属製遺物の保存処理は、X線写真を撮影してサビに覆われた遺物の原形を確認し、不要なサビや泥を除去するクリーニングを行い、安定化処理として防錆剤の含浸、強化処理としてアクリル樹脂の減圧含浸を行った。折損している遺物はすべて接合し、欠損部を補填材で充填・整形し、アクリル絵具で彩色した。

富士市からの受託品では、銀象嵌のある大刀鐔及び貴金具の象嵌表出作業を行った。伊豆の国市からの受託品では、銹化により剥離した鉄製品を部分ごとに分離して洗浄し、再強化後に接合して全形の復原を行った。小山町からの受託品では、銹化によりバラバラになりかけた鋳鉄製の鉄鍋を、強化して部材の接合を行い全形の復原を行った。



木製遺物保存処理作業（樹脂含浸作業）



金属製遺物保存処理作業（銹化部材の分離作業）

(4) 報告書の発刊

令和6年度は、表のとおり4事業の調査を終了し、報告書を刊行した。

報告書刊行一覧

集	遺跡名	所在地	主な内容
72	西浦立保長津崎 石丁場遺跡	沼津市	矢穴石を3点確認した。うち2点は、海岸にある円礫状の大石に矢穴を穿ったもので、分割されることなく残されていた。1点は分割面のある平坦な大石で、海岸にある石を利用したのか、別の場所から運ばれたものか、また、この場所で分割されたのかも不明である。3点の矢穴石の矢穴は、周辺の石丁場の矢穴に比べると、例外といえるほどに小さく、しかも大きさにまとまりがあることから、計画的に小さな矢穴があげられたと考えられる。
73	東大平遺跡	沼津市	愛鷹山南麓の標高82mの緩斜面に立地する。今回の調査では、弥生時代～近世の溝、土坑を検出した。特筆される遺構は、幅2.91m、深さ0.72m、検出延長42.21mの尾根筋に直行して掘られた断面V字形を呈する溝である。共伴遺物が少ないため、時期決定の根拠に乏しいが、類似した溝は、愛鷹山南麓の弥生集落の区画溝にあり、同時期の所産である可能性が高い。また、この溝に近接して検出された落ち込みからは弥生土器が集中して出土した。同遺構内からは焼土も確認されていることから、竪穴建物の可能性があるものの確定には至らなかった。以上のことから、本遺跡は、愛鷹山南麓に展開した弥生時代の集落群の南端部に該当する可能性がある。
74	上原遺跡	裾野市	箱根外輪山と愛鷹山に挟まれた富士山東南麓末端の溶岩流上の緩斜面地に立地する平安時代の散布地・集落跡である。昭和56年の発掘調査では、奈良～平安時代の竪穴建物跡7基が検出されるとともに土器が多く出土した。土器の中には「十」または「十一」と記した墨書土器が十数点確認されている。今回は、昭和56年の調査個所の隣接地を調査した。その結果、竪穴建物跡1基、柱穴7基、土坑3基、溝2基などを検出した。8世紀後葉～9世紀代の土器が出土したことから、遺構も同時期のものと考えられる。今回の調査でも「十」と書かれた墨書土器が20点出土し、昭和56年の調査成果を補強することとなった。平安期における一文字墨書は、当地域では一般的だが、発見される墨書のほぼすべてが同一の文字である事例は見られない。墨書土器は時期幅があるため、現存しない地名などを示している可能性がある。
75	吉祥寺廃寺	伊豆の国市	狩野川中流左岸の丘陵裾部・自然堤防上に立地する中近世に存在した臨濟宗寺院の推定地であるが、新たに縄文時代、弥生時代の遺物の散布が認められ、自然堤防上に展開する古墳時代及び平安時代の集落がこの地まで延びていることが確認された。また、寺院に前後する遺構、寺院の施設と考えられる遺構も検出された。

4 出土文化財の管理

(1) 出土文化財保管庫の整備

ア 出土文化財の保管状況

センターでは南棟と保管庫（旧体育館）を出土文化財の収蔵庫として使用している。旧保管庫からセンターへの移転後は、遺跡単位を基本としながら、出土文化財保管環境に適した場所と活用頻度に応じた保管体制をとることとして、下記の方針で収蔵している。

- ・活用頻度の高い出土文化財のうち、土器・石器等は南棟の各収蔵庫に遺跡単位で収蔵する。
- ・活用頻度の高い木製品は、南棟の収蔵庫 11 と保管庫に設置したオープンラックに遺跡単位で収蔵する。
- ・活用頻度の低い出土文化財は、保管庫に遺跡単位で収蔵する。
- ・金属製品はすべて、24 時間温湿度管理する特別収蔵庫に収蔵する。
- ・写真フィルムは、すべて空調管理可能な写真保管庫に収蔵する。
- ・図面ファイルは、図面保管室と南棟の収蔵庫 17、18 に遺跡単位で収蔵する。

出土文化財保管庫及び保管数量

(令和 6 年度末)

名称	保管場所	種別	保管数
埋蔵文化財センター	南棟、保管庫	出土品	35,684 箱
	保管庫	形状保存品	18 点
	南棟	写真	12,937 冊
	南棟、東棟	図面	3,107 冊
	北棟	図書	4,399 冊

イ 出土文化財保管台帳の整備

平成 27 年度に作成したデータ管理ソフトのフォーマットを使用し、平成 28 年度の移転で各出土文化財の保管場所が決定してから、平成 29 年度以降、フォーマットへの保管場所入力を行うとともに、図面保管室と写真保管室、及び収蔵庫と保管庫の配架、配置図作成を継続して行ってきた。また、過去の記録類や出土品の再収蔵と、保管台帳の再編集を行った。

(2) 出土文化財評価会

開催日時 : 令和 7 年 2 月 28 日 (金) 午後 1 時 30 分から午後 5 時まで

評 価 員 : 筑波大学 滝沢 誠 教授

静岡大学 篠原和大 教授

瀬戸市埋蔵文化財センター 岡本直久 所長

対象遺跡 : 国分寺・国府台遺跡ほか 計 6 遺跡

件数No.	発行機関	報告書番号	遺跡 (報告書名)
1	センター	65	国分寺・国府台遺跡
2	センター	66	堀田城跡
3	センター	67	赤塚遺跡
4	センター	68	尾羽廃寺跡
5	財団	30・69	角江遺跡 角江遺跡Ⅱ
6	財団	80	水井遺跡・清水遺跡

(3) 出土文化財の貸出等

・貸出 12 件（長期貸出更新分含）・閲覧申請 21 件・掲載申請 25 件・撮影申請 2 件

貸出一覧①（通常貸出分）

申請者	目的	資料名	遺跡名
あいち朝日遺跡ミュージアム 館長 原田 幹	企画展示 「弥生人といきもの 2024 鳥に願いを」	木製品 土製品	瀬名遺跡 井通遺跡
静岡市教育委員会 教育長 赤堀 文宣 (静岡市立登呂博物館)	企画展示 「しずおかタイムトラベル ～縄文時代から奈良・平安時代をたどる～」	金属製品 木製品	長崎遺跡 川合遺跡 元宮川神明原遺跡
豊橋市美術博物館 館長 岡田 亘世	企画展示 「銅鐸の国 ー伊奈銅鐸出土 100 年ー」	金属製品※ 土製品	西の谷遺跡 角江遺跡 青木原遺跡
静岡市教育委員会 教育長 赤堀 文宣 (静岡市立登呂博物館)	企画展示 「登呂遺跡を未来へつなぐ」	金属製品 木製品※※	文殊堂古墳群 仁田館遺跡
新潟県立歴史博物館 館長 小原 清文	中央日本 4 県山の洲文化財交流事業 企画展示 「珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉、」	ガラス製品	北神馬土手北遺跡

※静岡県指定文化財「銅鐸 1 口」を含む。

※※静岡県指定文化財「仁田館遺跡出土こけら経」の一部を含む。

貸出一覧②（長期貸出分 各年 2 回更新）

申請者	目的	資料名	遺跡名
国立歴史民俗博物館 館長 西谷 大	常設展示（先史・古代）大テーマⅠ 「最終氷期に生きた人々」	石器※	富士石遺跡 梅ノ木沢遺跡 西洞遺跡
独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館 館長 藤原 誠	一部抜粋して展示	木製品	角江遺跡 長崎遺跡 川合遺跡 瀬名遺跡
ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長 佐藤 洋一郎	常設展示	土器	押出シ遺跡
富士宮市教育委員会 教育長 望月 俊伸 (富士宮市埋蔵文化財センター)	常設展示	石器	下高原遺跡
富士山かぐや姫ミュージアム 館長 石川 武男	常設展示	石器	天ヶ沢東遺跡 古木戸 B 遺跡 矢川上 C 遺跡
焼津市生きがい・交流部 文化振興課長 日下部 充 (焼津市歴史民俗資料館)	一部抜粋して展示	土器 土製品 金属製品	笛吹段古墳群 兎沢古墳群
個人	研究	木製品	井通遺跡 角江遺跡 元島遺跡 駿府城跡（含 駿府城内遺跡）川合 遺跡 曲金北遺跡 鶴喰広田遺跡 手乱遺跡 中島 B 遺跡 葦山城跡 （含 山木遺跡）

※静岡県指定文化財「梅ノ木沢遺跡出土斧形石器 8 点」の一部を含む。

閲覧申請一覧

申 請 者	目 的	遺 跡 名	資 料 名
個人	個人研究のための資料調査	瀬名遺跡 長崎遺跡 元島遺跡 角江遺跡	木製品
静岡市教育委員会 教育長 赤堀 文宣 (静岡市立登呂博物館)	企画展示のための資料調査	長崎遺跡 川合遺跡 元宮川神明原遺跡	金属製品 木製品
東部古代史研究会 理事 松本 圭司	有志研究会の資料見学	元宮川神明原遺跡 瀬名遺跡	木製品
個人	個人研究のための資料調査	笛吹段古墳群	石製品
豊橋市美術博物館 館長 岡田 亘世	企画展示のための資料調査	西の谷遺跡 角江遺跡 青木原遺跡	金属製品※ 土製品
個人	修士論文作成のための資料調査	秋葉林遺跡	石器
個人	個人研究のための資料調査	向田A遺跡 高見丘IV遺跡 富士石遺跡	石器
静岡市教育委員会 教育長 赤堀 文宣 (静岡市立登呂博物館)	企画展示のための資料調査	文殊堂古墳群 仁田館遺跡	金属製品 木製品※※
個人	修士論文作成のための資料調査	刈ヶ沢遺跡 秋葉林遺跡 細尾遺跡 梅ノ木沢遺跡	石器
横須賀考古学会 縄文研究部会 野内 秀明	有志研究会の資料見学	徳倉B遺跡 老平遺跡 梅ノ木沢遺跡 元野遺跡	土器
個人	学士論文作成のための資料調査	佛ヶ尾遺跡	土器
個人	学士論文作成のための資料調査	富士石遺跡	土器 石器
個人	個人研究のための資料調査	川合遺跡	石器
個人	個人研究のための資料調査	向田A遺跡 入ノ洞B遺跡 梅ノ木沢遺跡 富士石遺跡	石器
個人	学士論文作成のための資料調査	下ノ大窪遺跡 佛ヶ尾遺跡	土器
個人	個人研究のための資料調査	川合遺跡	石器
個人	修士論文作成のための資料調査	秋葉林遺跡 的場遺跡 細尾遺跡	石器
個人	個人研究のための資料調査	赤土政所遺跡 恒武西宮遺跡 恒武西浦遺跡	土器
鈴鹿市考古博物館 館長 宮崎 光義	企画展示のための資料調査	尾羽廃寺跡	土器 木製品 植物遺存 体
個人	個人研究のための資料調査	的場遺跡	石器
個人	博士論文、投稿論文作成た めの資料調査	寺山古墳群 文殊堂古墳群 林古墳群 志味堂古墳群 瑞泉寺1号墳 八幡ヶ谷 古墳群 寺島大谷古墳	金属製品

※ 静岡県指定文化財「銅鐸1口」を含む。

※※静岡県指定文化財「仁田館遺跡出土こけら経」の一部を含む。

掲載申請一覧

申請者	目的	遺跡名	資料名	数量
学校法人高宮学園 代々木ゼミナール理事長 高宮 英郎	大学受験生向け講義用教材 2024 代々木ゼミナール夏季テキスト『局面を打開する日本史<共通テスト出題形式別対策>』に掲載	曲金北遺跡	遺構画像	1 葉
静岡市歴史博物館 館長 大石 学	企画展示「今川義元」の刊行図録及び展示パネル原図に使用	駿府城跡、 駿府城内遺跡	調査区平面図	1 図
あいち朝日遺跡ミュージアム 館長 原田 幹	企画展示「弥生人といきもの 2024 鳥に願いを」に関わる各種媒体（展示・広報物等）掲載画像に使用	瀬名遺跡 井通遺跡	木製品画像 土製品画像	2 葉 1 葉
三島市教育委員会文化財課 課長 及川 篤子	「三島市文化財保存活用地域計画」に関わる各種媒体（計画案及び策定後の印刷物、インターネット公開物等）掲載画像に使用	青木原遺跡	金属製品画像	1 葉
NHK 文化センター青山教室 阪西 敦子	講座「加門七海の陰陽道と呪術の世界」の資料画像に使用	中屋遺跡	木製品画像	2 葉
公益財団法人 鹿嶋市文化スポーツ振興事業団 理事長 田口 伸一 （鹿嶋市どきどきセンター）	企画展・移動展「古代の鹿島郡」展示パネル原図に使用	曲金北遺跡	木製品実測図	1 点
豊橋市美術博物館 館長 岡田 亘世	企画展示「銅鐸の国 ―伊奈銅鐸出土 100 年―」展示パネル原図に使用	西の谷遺跡 角江遺跡 青木原遺跡	金属製品画像 土製品画像 遺物出土状況画像	10 葉 2 葉 1 葉
学校法人高宮学園 代々木ゼミナール 理事長 高宮 英郎	大学受験生向け模擬試験問題「旧日本史 B」及び「歴史総合・日本史探求」に掲載	角江遺跡	土製品画像	1 葉
新潟県立歴史博物館 館長 小原 清文	中央日本 4 県山の洲文化財交流事業 企画展示「珠玉の国 新潟」に関わる各種媒体（展示・広報物等）掲載画像に使用	北神馬土手北遺跡	ガラス製品画像	2 葉
静岡市教育委員会 教育長 赤堀 文宣 （静岡市立登呂博物館）	企画展示「登呂遺跡を未来へつなぐ」展示パネル原図に使用	文殊堂古墳群	金属製品保存処理・復元作業過程画像	3 葉
静岡県立韮山高等学校 写真報道探究部員	学校新聞『韮山新聞』『韮山高校地下の遺跡特集』に掲載	韮山城跡	遺構画像	2 葉
株式会社ヒューイ 制作部ディレクター 谷 真寿雄	日本放送協会教育テレビ番組 「天才てれびくん」内企画において、「銅鐸」の説明に使用	西の谷遺跡	金属製品画像	5 葉
富士市教育委員会文化財課 課長 植松 良夫	出張展示企画「楽座でらくらく！スルガ古墳紀行」展示記録集、及びウェブサイト公開画像に使用	須津古墳群	調査区遠景画像 出土遺物集合画像	1 葉 2 葉
株式会社 ベネッセコーポレーション 著作権申請窓口責任者 源根 秀実	大学受験生向け教材に掲載	角江遺跡	木製品画像	1 葉
米原市教育委員会 教育長職務代理者 中川 清和	シンポジウム記録集「都と東国を結ぶ米原～東山道と琵琶湖の道～」記録集に掲載	曲金北遺跡	遺構画像	1 葉
株式会社アム・プロモーション 代表取締役 山下 治子	一般販売用カレンダー 「縄文カレンダー 2025」に掲載	押出シ遺跡	土器画像	1 葉
浜松市長 中野 祐介	シンポジウム「銅鐸の国と弥生時代の社会」発表資料に使用	西の谷遺跡	遺物出土状況画像	1 葉

東海シニア自然大学 講師 森 雄一	「昆虫分析により復元される川合遺跡の小環境」（仮題。『カラー版ムシの考古学』所収）掲載写真図版に使用	川合遺跡	遺構画像	1 葉
株式会社世界思想社教学社 代表取締役 上原 寿彰	大学受験生向け教材『共通テスト過去問研究 歴史総合，日本史探求』2026 年版に掲載	曲金北遺跡	遺構画像	1 葉
株式会社図書館流通センター 中部支社長 伊藤 寛	浜松市立細江・引佐・三ヶ日図書館、浜松市博物館連携市民向け講座『歴史でつなぐ奥浜名湖』①の広報チラシ掲載画像に使用	井通遺跡	土器画像	1 葉
株式会社日本入試センター 代表取締役 高宮 英郎	大学受験生向け教材『2026 大学入学共通テスト実戦問題集歴史総合，日本史探求』に掲載	角江遺跡	土製品画像	1 葉
個人	研究誌所収予定論文掲載図版として使用	曲金北遺跡	報告書掲載図 遺構画像	1 図 1 葉
原の会 事務長 塚本 和弘	原泉地区の史跡名勝を紹介する「原泉風土記」に掲載	宮ノ沢遺跡	遺構配置図	1 図
知立市歴史民俗資料館 館長 河合 圭太	資料館展示ジオラマ投影画像に使用	曲金北遺跡	遺構画像	1 葉
富士市教育委員会文化財課 課長 植松 良夫	小学校 6 年生向け文化財ガイドブック『富士市文化財マップ ふじ知る』に使用	破魔射場遺跡	遺跡遠景画像	1 葉

撮影申請一覧

申 請 者	目 的	遺 跡 名	資 料 名
個人	個人研究	瀬名遺跡 長崎遺跡 元島遺跡 角江遺跡	木製品
個人	個人研究	角江遺跡 将監名遺跡 川合遺跡	土器 石器

5 埋蔵文化財の活用

(1) 体験授業・出前授業

体験・出前講座一覧 42 件 体：体験授業 (11) 出：出前授業 (31)

	派遣先	日 時	参加者	内 容
出	静岡市立清水浜田小学校	令和6年5月2日(木)	6年生 29人	勾玉作り
体	キラリ高等学校	令和6年5月14日(火)	1～3年生 88人	施設展示見学、勾玉作り、火起こし
出	静岡市立清水袖師小学校	令和6年5月16日(木)	6年生 61人	土器分類、石器試切、火起こし
体	富士市立吉原北中学校	令和6年5月23日(木)	1年生 109人	施設展示見学、勾玉作り、火起こし
出	裾野市立南小学校	令和6年5月30日(木)	6年生 38人	弓矢
出	静岡市立賤機中小学校	令和6年6月4日(火)	6年生 8人	土器分類、石器試切、火起こし
体	静岡市立長田東小学校	令和6年6月5日(水)	6年生 148人	見学、発掘解説、土器分類、石器試切、火起こし
出	御前崎市立浜岡北小学校	令和6年6月11日(火)	6年生 30人	発掘解説、土器分類、石器試切、火起こし
出	浜田生涯学習交流館女性講座	令和6年6月13日(木)	成人 20人	勾玉作り
出	静岡市立新通小学校	令和6年6月18日(火)	6年生 28人	発掘解説、土器分類、石器試切、火起こし
出	湖西市立東小学校	令和6年6月20日(木)	6年生 29人	土器分類、石器試切、火起こし
出	藤枝市立葉梨西北小学校	令和6年6月25日(火)	6年生 12人	土器分類、火起こし
体	城南静岡中学校	令和6年6月27日(木)	1・2年生 39人	施設展示見学、発掘解説、ミニミニはにわ作り
出	掛川市立佐東小学校	令和6年7月2日(火)	6年生 31人	土器分類、石器試切、火起こし
出	静岡市立大谷小学校	令和6年7月4日(木)	6年生 68人	土器分類、石器試切、火起こし
出	富士宮市立内房小学校	令和6年7月9日(火)	6年生 8人	石器試切、火起こし、弓矢
出	静岡市立両河内小中学校	令和6年7月11日(木)	6年生 9人	土器分類、石器試切、火起こし
出	沼津市立長井崎小中一貫学校	令和6年7月16日(火)	6年生 15人	土器分類、石器試切、火起こし
出	菊川市立六郷小学校	令和6年7月18日(木)	6年生 71人	発掘解説、土器分類、石器試切、火起こし
出	興津生涯学習交流館	令和6年7月23日(火)	1～6年生 24人	ミニミニはにわ作り
出	蒲原生涯学習交流館	令和6年7月25日(木)	1～6年生 24人	ミニミニはにわ作り
出	清水生涯学習交流館	令和6年7月30日(火)	1～6年生 16人	ミニミニはにわ作り
出	不二見生涯学習交流館	令和6年8月1日(木)	3～6年生 16人	ミニミニはにわ作り
出	由比生涯学習交流館	令和6年8月6日(火)	1～6年生 17人	古代織物作り
出	小島生涯学習交流館	令和6年8月6日(火)	3～6年生 9人	石器試切、火起こし
出	三保生涯学習交流館	令和6年8月8日(木)	1～6年生 20人	ミニミニはにわ作り
出	清水町地域交流センター	令和6年8月20日(火)	3～6年生 25人	勾玉作り
出	浜田生涯学習交流館	令和6年8月22日(木)	1～6年生 20人	ミニミニはにわ作り
体	放課後等DSここ	令和6年8月27日(火)	1～6年生 6人	発掘解説、ミニミニはにわ作り、見学
体	生活介護ここ	令和6年9月3日(火)	成人 2人	発掘解説、勾玉作り

出	三島市立山田小学校	令和6年9月10日(火)	6年生	90人	土器分類、火起こし
出	蒲原生涯学習交流館寿大学	令和6年10月10日(木)	成人	48人	勾玉作り
出	静岡県立清水特別支援学校	令和6年10月22日(火)	4年生	17人	ミニミニはにわ作り
出	静岡県立清水特別支援学校	令和6年11月12日(火)	6年生	14人	ミニミニ土器作り
体	静岡北中学校	令和6年11月7日(木)	2年生	71人	ミニミニはにわ作り、古代織物
出	不二見生涯学習交流館おもと大学	令和6年11月14日(木)	成人	20人	勾玉作り
出	静岡県立清水特別支援学校	令和6年11月21日(木)	5年生	17人	ミニミニ土器作り
体	静岡サレジオ高等学校	令和6年12月10日(火)	3年生	28人	施設展示見学、考古学概論講義
体	放課後等DS やんちゃりか	令和6年12月24日(火)	小～高校生	12人	施設展示見学、土偶作り
体	放課後等DS f-labo	令和6年12月26日(木)	1～6年生	13人	施設展示見学、勾玉作り
出	東伊豆町立熱川小学校	令和7年1月16日(木)	5～6年生	50人	出張展示見学、土器分類、火起こし
体	放課後等DS ここ	令和7年3月18日(火)	1～6年生	5人	施設展示見学、勾玉作り

体験用具貸出一覧 16件

静岡県立浜松湖南高等学校	令和6年4/3～5/10	2年生	70人	土器(1) 石器(1) 弓矢(6)
富士市立富士見台小学校	令和6年5/17～5/24	6年生	44人	火起こし(5)
富士市立富士見台小学校	令和6年5/24～5/31	6年生	44人	土器(4) 石器(5)
富士市立富士南小学校	令和6年6/3～6/7	6年生	160人	火起こし(8) 石器(8) 弓矢(8)
富士市立富士南小学校	令和6年6/7～6/28	6年生	160人	土器(1)
富士宮市立貴船小学校	令和6年6/17～6/20	6年生	93人	火起こし(8)
焼津市立西小学校	令和6年6/21～6/28	6年生	136人	火起こし(8)
三島市立北上中学校	令和6年8/28～9/6	2年生	129人	土器(5)
富士市立吉原北中学校	令和6年8/30～9/9	1年生	108人	完形土器(1)
三池平古墳まつり実行委員会	令和6年9/25～10/2	一般	500人	土器(3) 石器(3) 火起こし(3)
湖西市産業部文化観光課	令和6年10/9～10/22	一般	60人	完形土器(1) 土器(1) 石器(1)
裾野市立南小学校	令和6年10/21～11/19	6年生	229人	狩猟弓矢セット 弓(10)・矢(40)
静岡県立浜松湖南高等学校	令和6年10/22～10/29	2年生	9人	土器(1) 石器(1) 狩猟弓(9)・矢(20)
JAM静岡	令和6年11/15～12/2	一般	5人	火起こし(1)
藤枝市立高洲南小学校	令和6年11/28～12/16	5・6年生	20人	火起こし(6) 土器(1)
JAM静岡・トライアルパーク	令和6年11/29～12/2	一般	34人	火起こし(16)

(2) 古代体験まつり フェスタ埋文 2024

フェスタ埋文は、中学生以下とその保護者を対象として、古代人のものづくりの方法や生活の知恵について体験を通じて知ることができるイベントである。埋蔵文化財センターを会場として平成25年度から県民の日協賛事業として開催している。令和6年度は125人の参加があった。

体験プログラムは、例年開催の火おこし体験、まが玉づくり体験、弓矢体験、古代服試着体験、センター探検隊、東海大学人文学部丸山研究室によるミニミニ発掘体験に加え、ミニミニはにわづくり体験を新たに加えて開催した。

本年度も東海大学人文学部丸山研究室、常葉大学大学院安藤研究室、静岡県立沼津城北高校の協力を得て、学生、生徒たちがセンター職員と共に来場者の対応にあたった。

日 時：8月24日（土） 9：30～15：30

会 場：静岡県埋蔵文化財センター

対 象：中学生以下の児童・生徒とその保護者

参加人数：125人

協 力：東海大学人文学部丸山研究室、常葉大学大学院安藤研究室、静岡県立沼津城北高校



ミニミニはにわづくり体験



火おこし体験



弓矢体験



古代服試着体験

(3) 遺跡調査報告会『しずおかの原像をさぐる』

静岡県歴史文化を知る上で注目される発掘調査成果を報告することにより、地域の埋蔵文化財や歴史に対する理解・関心を深めてもらう機会を提供するもので、昨年度から当センターの所在地である蒲原地区（蒲原生涯学習館）で実施している。今回の報告会では、古墳を取り上げ、発掘「調査」、発掘調査に基づく地域史「研究」、新たな技術（3次元データ）の「活用」、史跡指定された古墳の「保存整備」の4つの視点から、静岡の古墳の魅力を発信した。

令和6年11月9日（土）蒲原生涯学習交流館ホール 来場者数 116人

「高所に築かれた古墳 副葬品から被葬者に迫る 船津1古墳群」岩本 貴（当センター）

「比奈1古墳群の調査成果と富士山・愛鷹山南麓の古代集団」藤村 翔（富士市教育委員会）

「横穴墓の3D計測」丸杉俊一郎（菊川市教育委員会）

「よみがえった前方後円墳」井村広巳（掛川市）



遺跡調査報告会 質疑の様子



遺跡調査報告会 会場の様子

(4) 埋文セミナー・考古学技術体験

ア 埋文セミナー

埋文セミナーは一般向け講座として実施している。今年度は『埋蔵文化財センター周辺の遺跡』と題して全3回の講座を行った。

第1回は「尾羽廃寺跡の発掘調査」、第2回は「富士川SA周辺の遺跡」、第3回は「蒲原の遺跡」と題して、センターが所在する蒲原周辺の遺跡について、縄文時代から中世に至るまでの広範な歴史についての講義を行った。

埋文セミナー開催実績

(会場：埋蔵文化財センター)

回	日	テーマ	講師	参加者
第1回	7/13	「尾羽廃寺跡の発掘調査 ～遺構・遺物からみえてきたこと～」	武田寛生	60人
第2回	9/19	「富士川SA周辺の遺跡 ～富士山を望む縄文と古墳の遺跡～」	勝又直人	64人
第3回	11/16	「蒲原の遺跡 ～とても身近な桑原遺跡とその周辺～」	岩本 貴	53人

イ 考古学技術体験（全4回）

今年度の考古学技術体験は全4回で実施した。センターで保管管理している出土文化財のうち、木製品の保存処理を通年で実施しながら、木製品の実測や金属製品の保存処理を体験した。また、体験参加者が保存処理を実施した出土文化財を、「考古学技術体験の成果展」として令和7年5月から、展示室3にて特別公開予定である。

考古学技術体験開催実績

(会場：埋蔵文化財センター)

回	日	テーマ	講師	参加者
第1回	5/15	保存処理の概要解説、木製品の処理前記録	大森信宏	9名
第2回	7/17	木製品のクリーニング、安定化処理ほか	大森信宏	9名
第3回	10/16	木製品の安定化処理、土器・銅銭等の拓本採取	岩名建太郎	11名
第4回	1/15	木製品の修復作業、処理後記録の作成作業	大森信宏	9名



埋文セミナー第1回（尾羽廃寺跡の発掘調査）



考古学技術体験（木製品の安定化処理）

（5）常設展示

常設展示は、センター2階に3つの展示室を設け、静岡県内の旧石器時代から近世にわたる数万年間の歴史を考古学の視点から出土品を中心に展示解説している。展示室3では5月22日～7月12日「令和5年度考古学技術体験の成果」特別展示、7月13日～9月18日は第1回埋文セミナー関連展示「尾羽廃寺跡の調査」、9月19日～10月31日は第2回埋文セミナー関連展示「富士川SA周辺の遺跡」、11月16日～12月13日は第3回埋文セミナー関連展示「蒲原周辺の遺跡」、1月20日～3月31日は埋蔵文化財センターオリジナルカプセルトイ販売開始記念展示「大井川流域でつくられたやきもの」を来場者に御覧いただいた。

また、2月25日（火）～3月10日（月）の期間は展示を休止し、展示パネルの入替えを容易にすることを目的として各展示室の壁面にスチール製ボードを設置する工事を実施した。

年間来場者数：6,095人



埋文セミナー第3回関連展示風景



スチール製ボード設置後の展示室内

(6) 出張展

令和6年度から、従来の巡回展を出張展としてリニューアルして開催することとした。県内2施設を展示会場に、令和6年度は、牧之原市、東伊豆町を会場として、里帰り展と題し地元遺跡の出土品を選定して展示した。関連イベントとして、小学生を対象とした展示解説と体験授業、一般を対象とした展示関連講座などを開催し好評を得た。

ア 牧之原会場

(ア) 日 時：令和6年10月2日～令和6年11月28日

(イ) 会 場：坂部区民センター（牧之原市坂部 508 番地 1）

(ウ) 来場者数：3,258 人

(エ) 関連イベント：展示解説と弓矢体験 対象：牧之原市立坂部小学校全児童



展示状況（牧之原会場）



関連イベント（牧之原会場・弓矢体験）

イ 東伊豆会場

(ア) 日 時：令和7年1月8日～令和7年2月2日

(イ) 会 場：東伊豆町立図書館（賀茂郡東伊豆町奈良本 908-8）

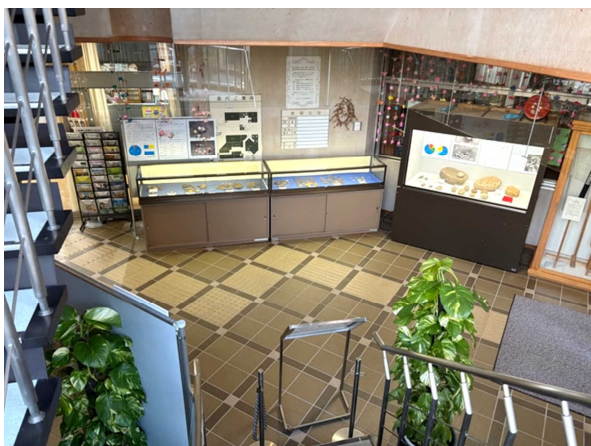
(ウ) 来場者数：1,459 人

(エ) 関連イベント

講座「中峯遺跡と発掘調査のお話 土器分類体験付き」 講師 岩本 貴

令和7年1月11日（土） 参加者数：町民 25 人

展示解説と火おこし体験、土器の分類体験 対象：東伊豆町立熱川小学校5・6年生



展示状況（東伊豆会場）



関連イベント（東伊豆会場・関連講座）

ウ その他展示

令和6年6～7月にセンターが発掘調査を実施した裾野市深良の上原遺跡の調査成果速報展を裾野市生涯学習センターで開催した。

上原遺跡発掘調査速報展～深良地区の平安時代の遺跡調査速報～

(ア) 日 時：令和7年1月16日(木)～令和7年2月12日(水)

(イ) 会 場：裾野市生涯学習センター(裾野市深良435)

(ウ) 来場者数：3,617人

(エ) 関連イベント

「解説講座 上原遺跡の発掘調査成果の御報告」 講師 岩本 貴
令和7年2月1日(土) 裾野市生涯学習センター 参加者数：27人



展示状況



展示関連イベント(講座)

(7) 文化財交流拡大事業

本県、山梨県、長野県、新潟県の4県連携により実施している本事業であるが、本県では『経塚に見る中世の山岳信仰』と題する展示会を、令和7年2月6日(木)～3月1日(土)の期間で、静岡県立美術館県民ギャラリーを会場として開催した。来場者数は1,167人。また、会期中に記念講演会を開催し、講演及びパネルトーク・ギャラリートークを行った。

記念講演会：2月22日(土)13:00～16:30 静岡県立美術館講堂 来場者数103人

講演：「中世の寺院と“山”との関わり ～信仰と行事から紐解く～」

講師 大高康正(静岡県立富士山世界遺産センター)

パネルトーク：静岡県 勝又直人(静岡県埋蔵文化財センター)

山梨県 野代恵子(山梨県埋蔵文化財センター)

長野県 原 明芳(安曇野市豊科郷土博物館)

新潟県 伊藤啓雄(柏崎市立博物館)



記念講演会パネルトーク



記念講演会ギャラリートーク

(8) 調査指導等の依頼対応

依頼対応状況

内容	依頼者等	対応職員	実施日	参加者数
埋蔵文化財包蔵地内確認調査指導	森町教育長	中川律子	令和6年6月11日	
国指定重要有形民俗文化財「山木遺跡の生産・生活用具」展示手法・形態等の指導	伊豆の国市	中川律子	令和6年7月10日	
静岡市登呂博物館実習生施設見学等	静岡市教育長	大森信宏	令和6年8月2日	14
登呂博物館秋季企画展関連講演会講師	静岡市教育長	大森信宏	令和6年11月17日	29
令和6年度文化財担当者専門研修「報告書編集基礎課程」講師	奈良文化財研究所	富樫孝志	令和6年12月3日	
講演「日本の出土琴」	生活情報交換会	中川律子	令和6年12月20日	28
講演「文化財保存の科学と技術」	静岡市葵生涯学習センター	大森信宏	令和7年1月19日	20
講演「蒲原城を学ぶ（入門編）」	静岡市立蒲原図書館	岩本 貴	令和7年2月16日	27
講演「国指定史跡 北江間横穴群を学ぶ」	伊豆の国市長岡中央公民館	岩本 貴	令和7年3月15日	110
列品等修理請負候補者選定委員会嘱託	九州国立博物館	大森信宏	令和7年3月18日	

静岡県文化財年報

(令和6年度)

令和7年6月発行

編集・発行

静岡県スポーツ・文化観光部

文化財課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話番号 054-221-2554

埋蔵文化財センター

〒421-3203 静岡市清水区蒲原5300-5

電話番号 054-385-5500

